

鈴木ひろみち

仕事はきついで、  
たまにはは  
癒いや  
たこれの

保母さんに二度目の恋をした  
先輩OLの痴態に欲情した揺れる電車  
熟女歯科医の叔母さん  
許された義母相姦  
パート妻の甘い唇  
美人課長の誘惑のフェロモン  
いとこのお姉さん報復の中だし  
人妻タクシードライバー陰唇の疼き

WEB専用  
限定

コミック  
激ババ!  
成年  
コミック  
MEDIA X  
GEKIYABI  
COMICS  
51

鈴木ひろみち

仕事はきついけど、  
たまには  
遊ばせ  
たいの

保母さんに二度目の恋をした  
先輩OLの痴態に欲情した揺れる電車  
熟女歯科医の叔母さん  
許された義母相姦  
パート妻の甘い唇  
美人課長の誘惑のフェロモン  
いとこのお姉さん報復の中だし  
人妻タクシードライバー陰唇の疼き

WEB専用  
限定

コミック  
激バ  
成年  
コミック  
MEDIA X  
CEKIYABI  
COMICS  
51

保母さんに

ホボさんに

ニドメの

一度目の

恋を  
した

コイをシタ



話は俺が大学受験に  
失敗して実家で  
浪人生活を  
してた時の事……

実家に  
年の離れた姉が  
離婚して息子を  
連れて帰って来た

息子は保育園の  
転入が決まり

仕事を持っていた  
姉が送り迎えを  
していた

その姉が風邪で  
ダウンしてしまい  
俺がその役目を  
任された

その保育園は子供の頃  
俺も通っていたのだ

おはよう  
ございます

おはよう  
ございます

まゆみ  
真由美先生……

今日は  
ママと一緒に  
ないのね

おはよう  
ございます

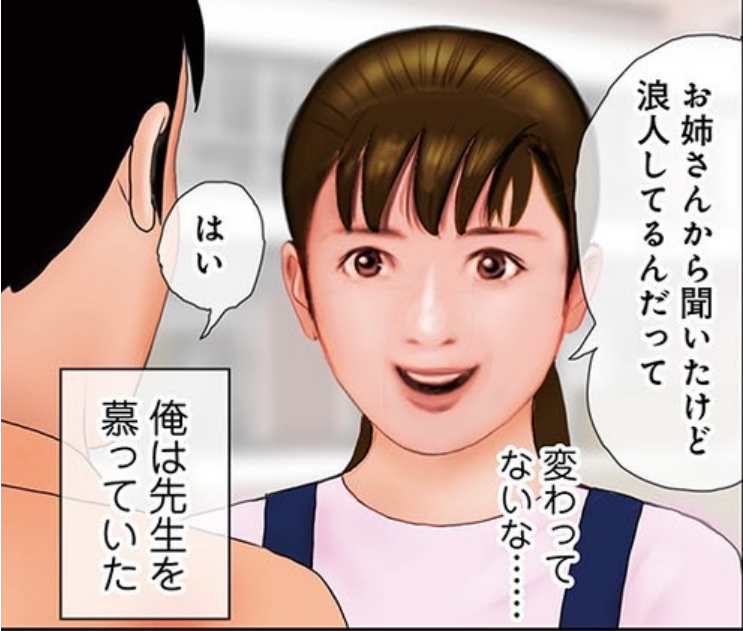
おはよう  
ございます

おはよう  
ございます

園に来るのは  
卒園以来だったので  
俺はちよっと  
胸がときめいていた

風邪ひいて  
寝込んでるんです

あらそう  
……



はい

お姉さんから聞いたけど  
浪人してるんだって

変わって  
ないな……

俺は先生を  
慕っていた



もしかして  
真也くん

はい  
お久しぶりです

俺のこと覚えていて  
くれたのか

俺も園の記憶は  
うっすらだったが  
先生のことは  
よく覚えていた



頑張ってるね

……いや  
女つぼさが  
増してる  
……なんか  
そそられる

今思うと初恋  
だったんだと思う



俺はその晩  
真由美先生を  
思い浮かべ  
チンコを  
しごいた

どうやら俺は  
二度目の恋に  
おちたようだった  
その時はあの頃の  
純真な俺じゃない  
受験勉強で鬱積し  
性欲が溜まった  
男だった



あの頃の思いは  
もう消えていた  
はずなのに……



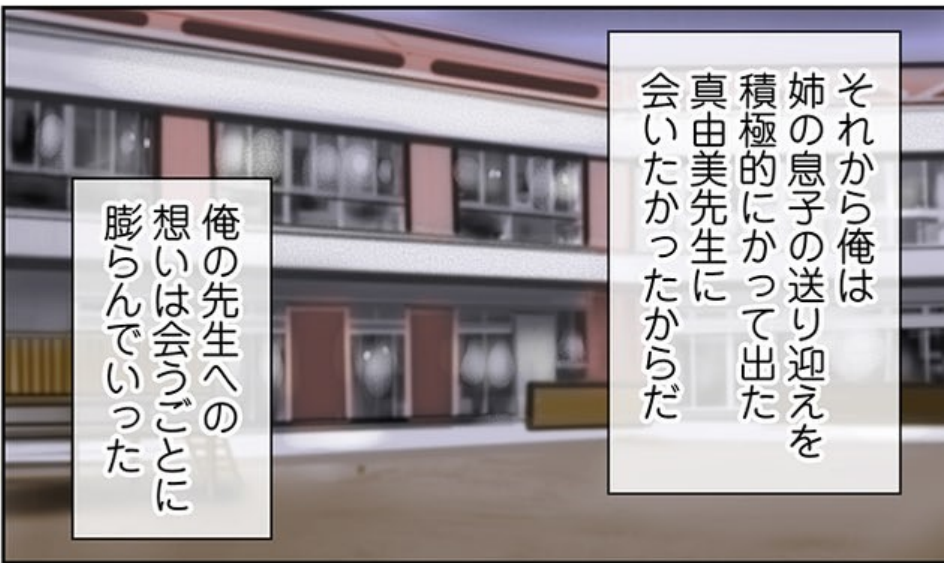
真由美先生！

先生は37才  
結婚していて  
小学生の子供がいると  
姉から聞いた



それじゃあ  
さよなら

さようならあ



俺の先生への  
想いは会うごとに  
膨らんでいった

それから俺は  
姉の息子の送り迎えを  
積極的にかって出た  
真由美先生に  
会いたかったからだ



本当  
助かるわ

保母さんたちに  
休日出勤頼み  
づらくてね



園内の  
模様替えとか  
備品の整理を  
しようと思って

いいですよ



え…

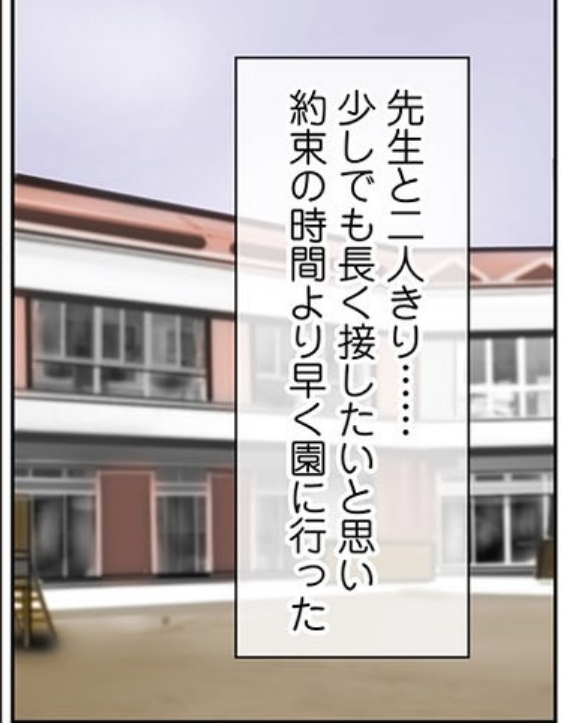
真也くん  
アルバイト  
しない

先生は園長を  
していた  
先代の園長だった  
母親から受け  
継いだのだ

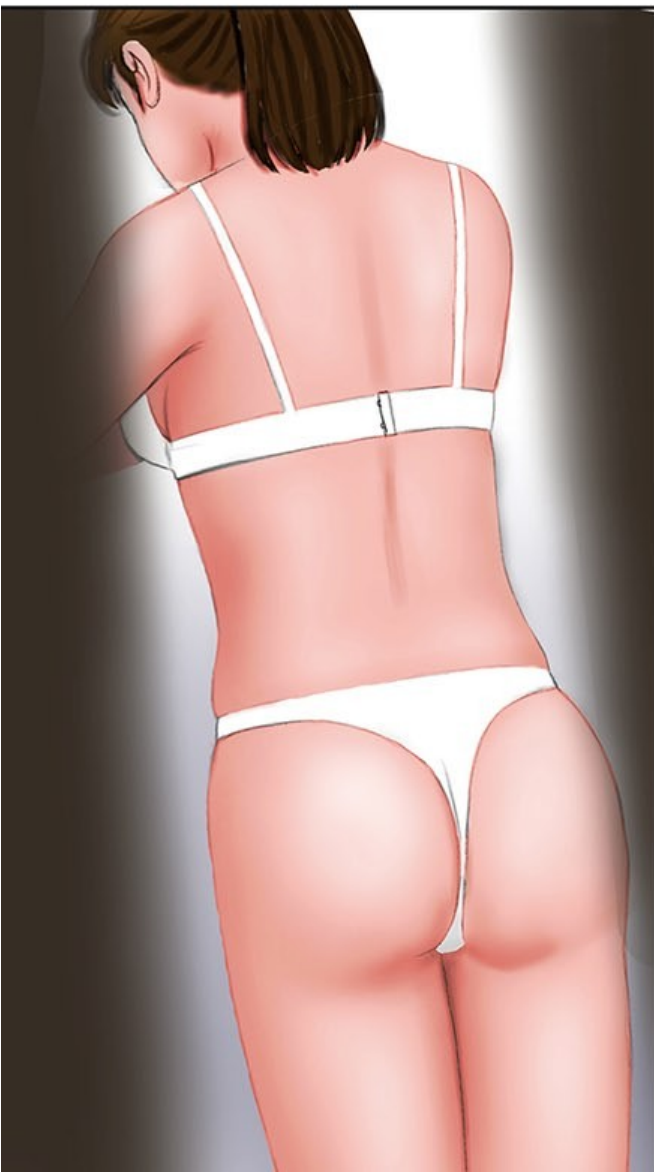
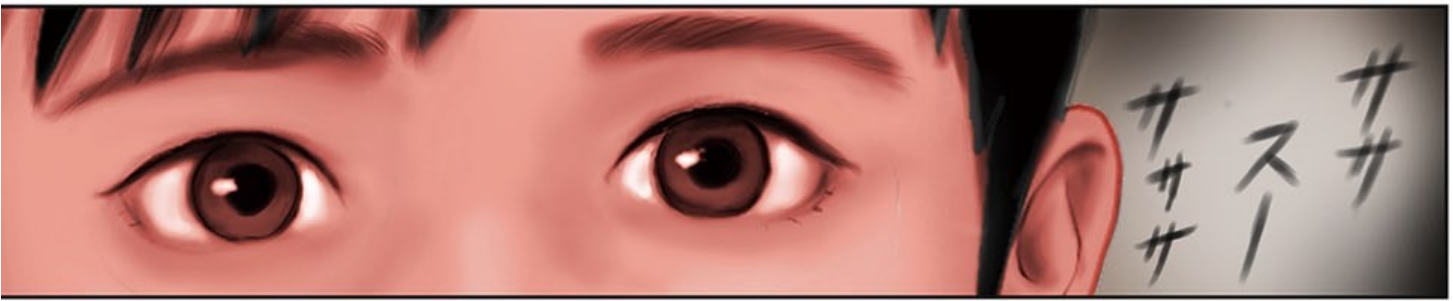


着替え中か

先生を捜していると  
ドアの前から  
衣擦れの音が聞こえた



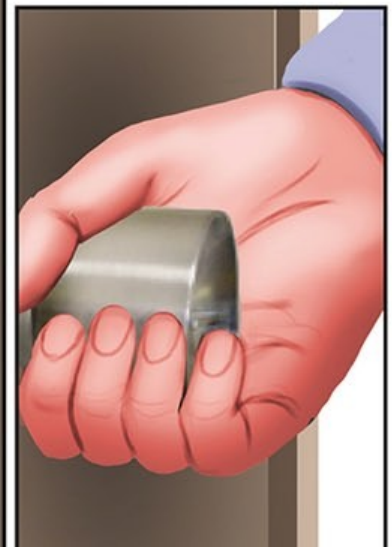
先生と二人きり……  
少しでも長く接したいと思い  
約束の時間より早く園に行った

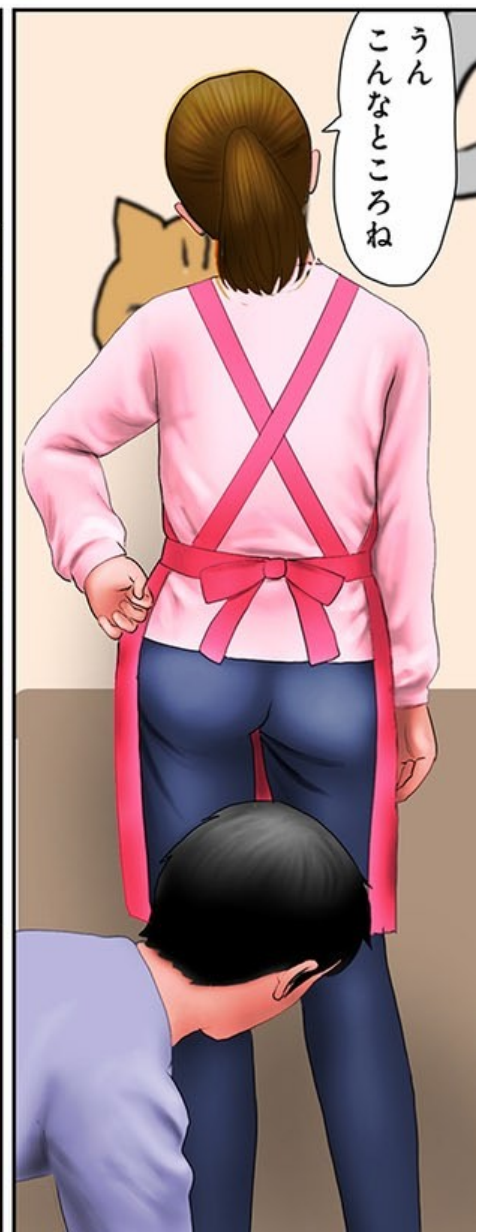


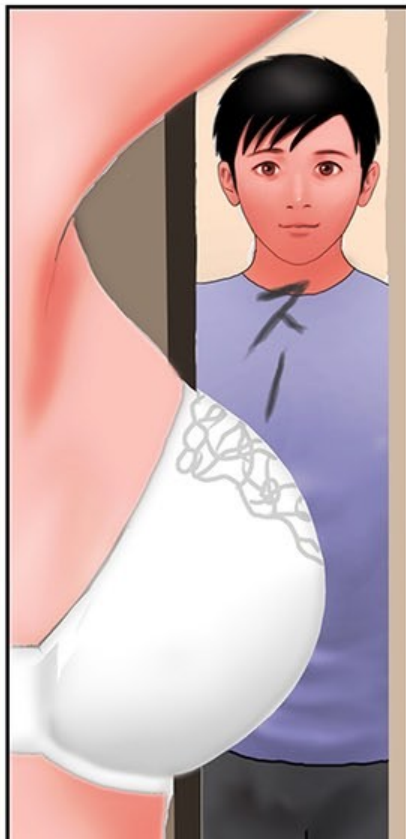
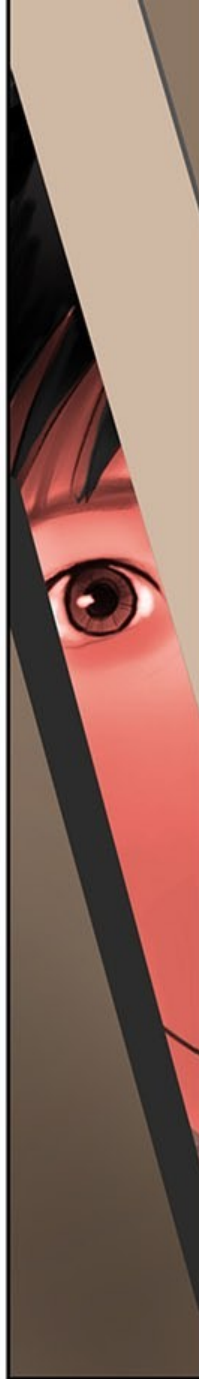
ちよつとだけ  
……



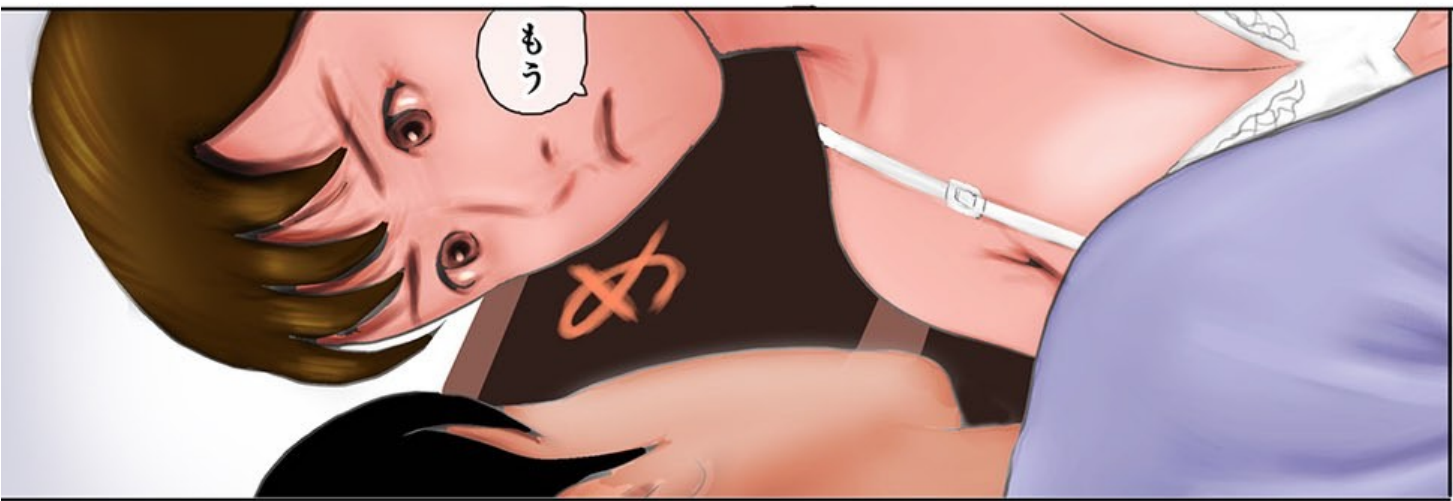
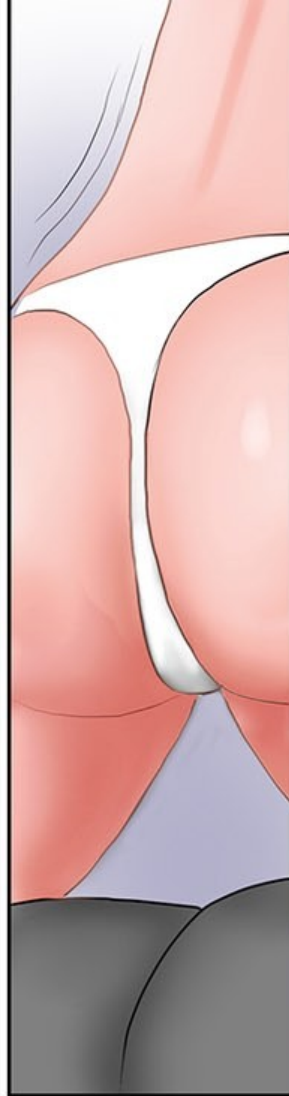
だめだ  
よせ……











なんか  
懐かしいな

…俺  
先生のこと  
園児の頃も  
好きだったん  
ですよ

甘えて  
よくこの胸に  
飛び込んでたでしょ  
覚えてますか？

……あなたのこと  
お姉さんから聞いて  
あああの子かなって  
うっすらと…

なんだ  
俺のこと  
覚えてたんじゃ  
無かったのか

そんなこと  
どうでもいらいか



先生だって女だ  
おっぱい揉まれて  
舐められたら  
気持ちがいいんだ

ちよっとかすれた  
か細い喘ぎ声  
が  
悩ましかった

あ…

あ…

あん



あ…  
あ…  
あ…

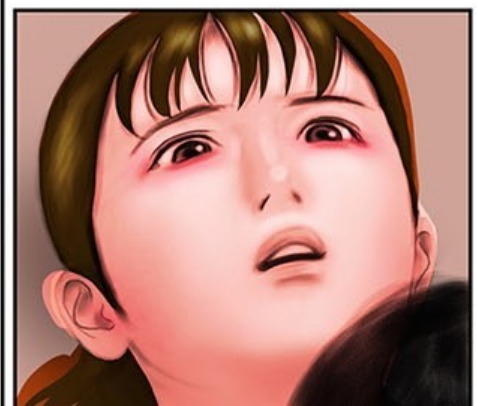
……  
感じる

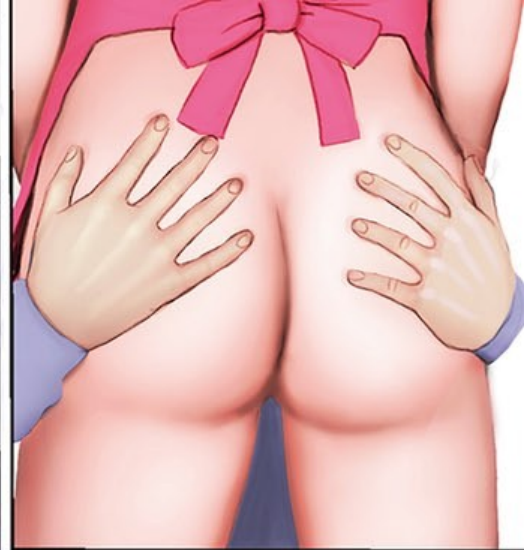


先生  
素敵だよ



先生  
裸になって  
エプロンつけて





あは……あ……  
んん……うふ……

んはあ  
……

先生のお股を  
あ……舐めるなんて  
……んん  
いけない子ね……

あ!



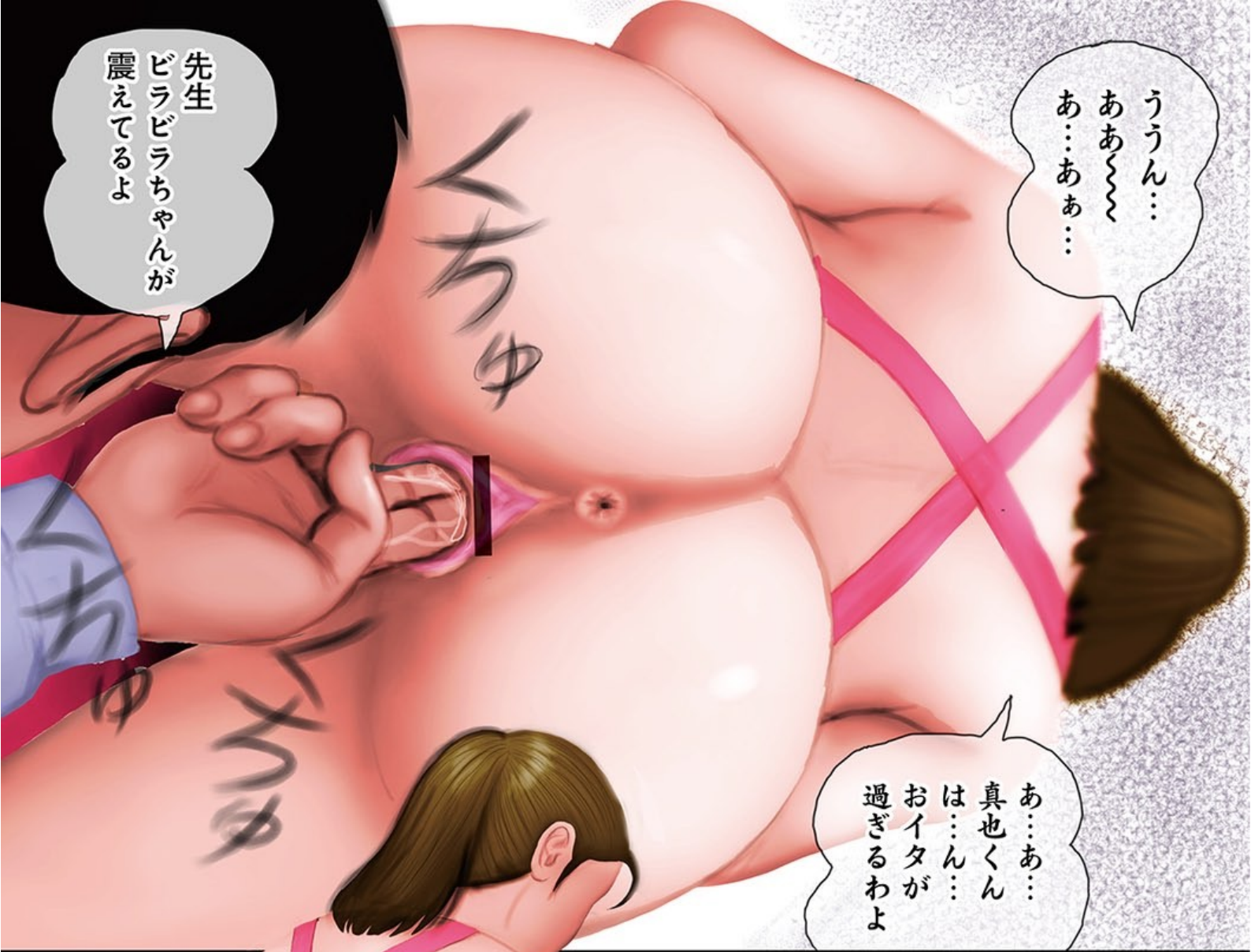
あ~~~~ん

先生の喘ぎ声は  
艶っぽくなってきた

先生  
お汁が溢れて  
きたよ……  
このお汁  
おいしいなあ

真由美先生の  
ものとは思えない  
卑猥なオマンコだった

ぺちよ  
ぺちよ  
ぺちよ



ううん…  
ああく〜  
あ…ああ…

先生  
ビラビラちゃんが  
震えてるよ

あ…あ…  
真也くん  
は…ん…  
おイタが  
過ぎるわよ



先生今度は  
俺のチンコを

ああ…  
んんはあく〜



あ

あふ

ああん

ぴちや

ぴちや

ぴちや



どうし  
たの？

うちの人と  
比べて硬くて  
大きいの

先生は  
チンコを握り  
見つめていた



そうだ先生は  
子供もいる  
人妻なんだ

背徳感が  
湧いてきて

さらに興奮は  
高まった

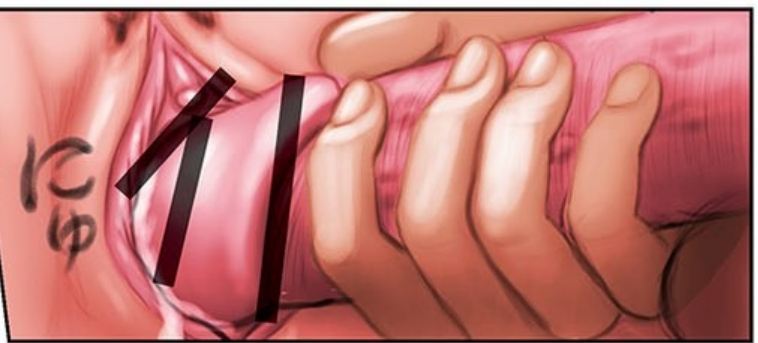
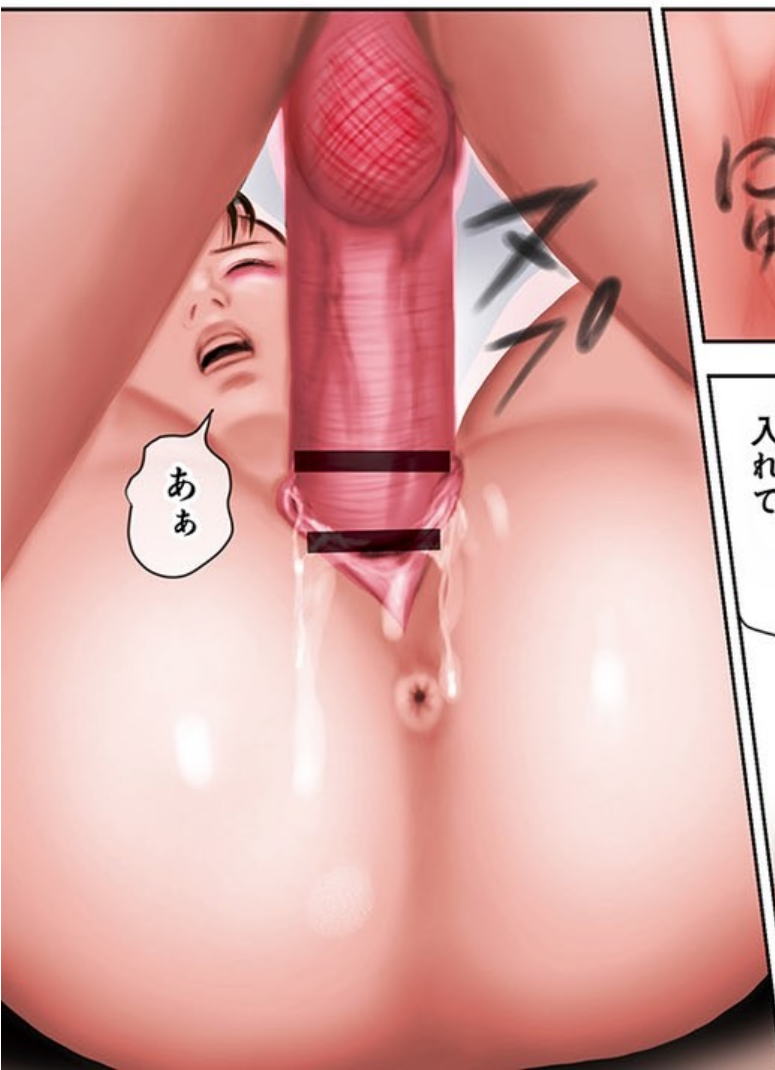
チュルル  
チユ  
チユ

チユ  
チユ

チユ  
チユ

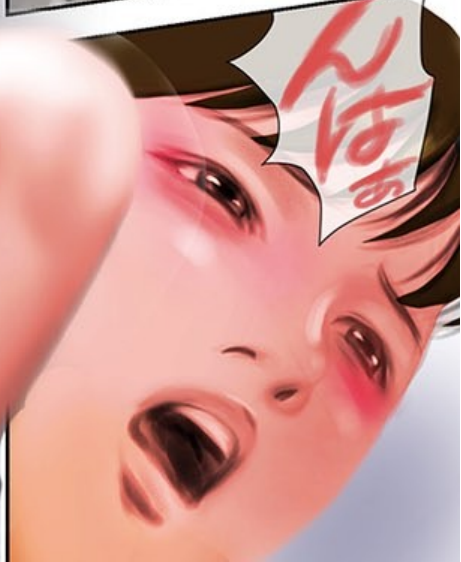
チユ  
チユ

あ~~~~  
たまらない









先生  
気持ちいいよお

あ

あ

あ

あ

あ

う

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

ん



あん

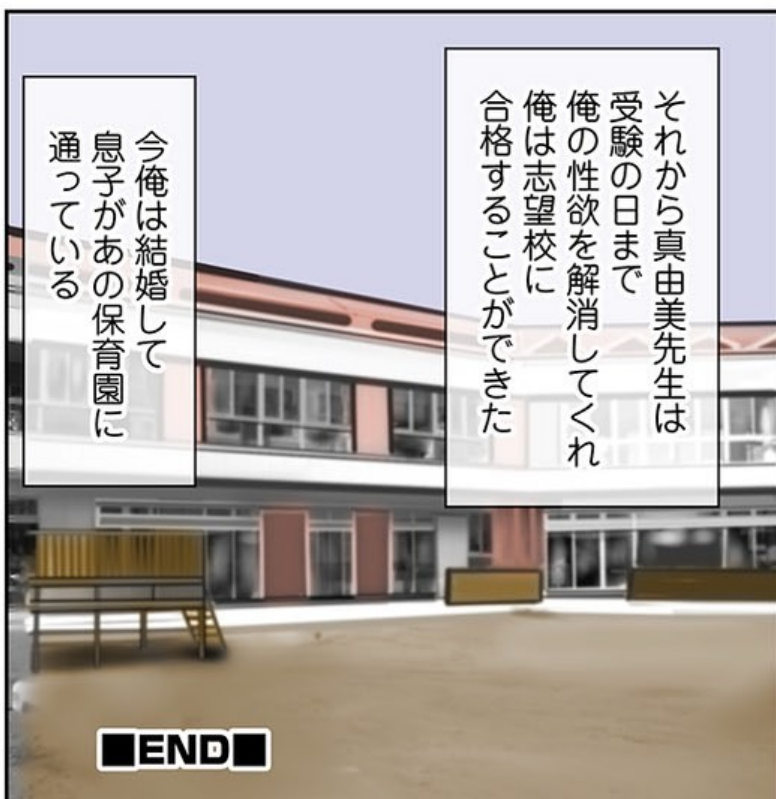
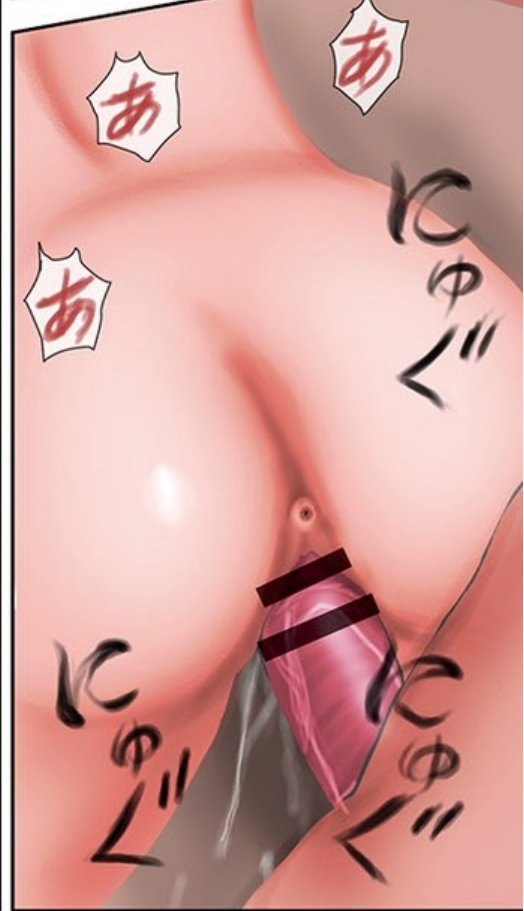
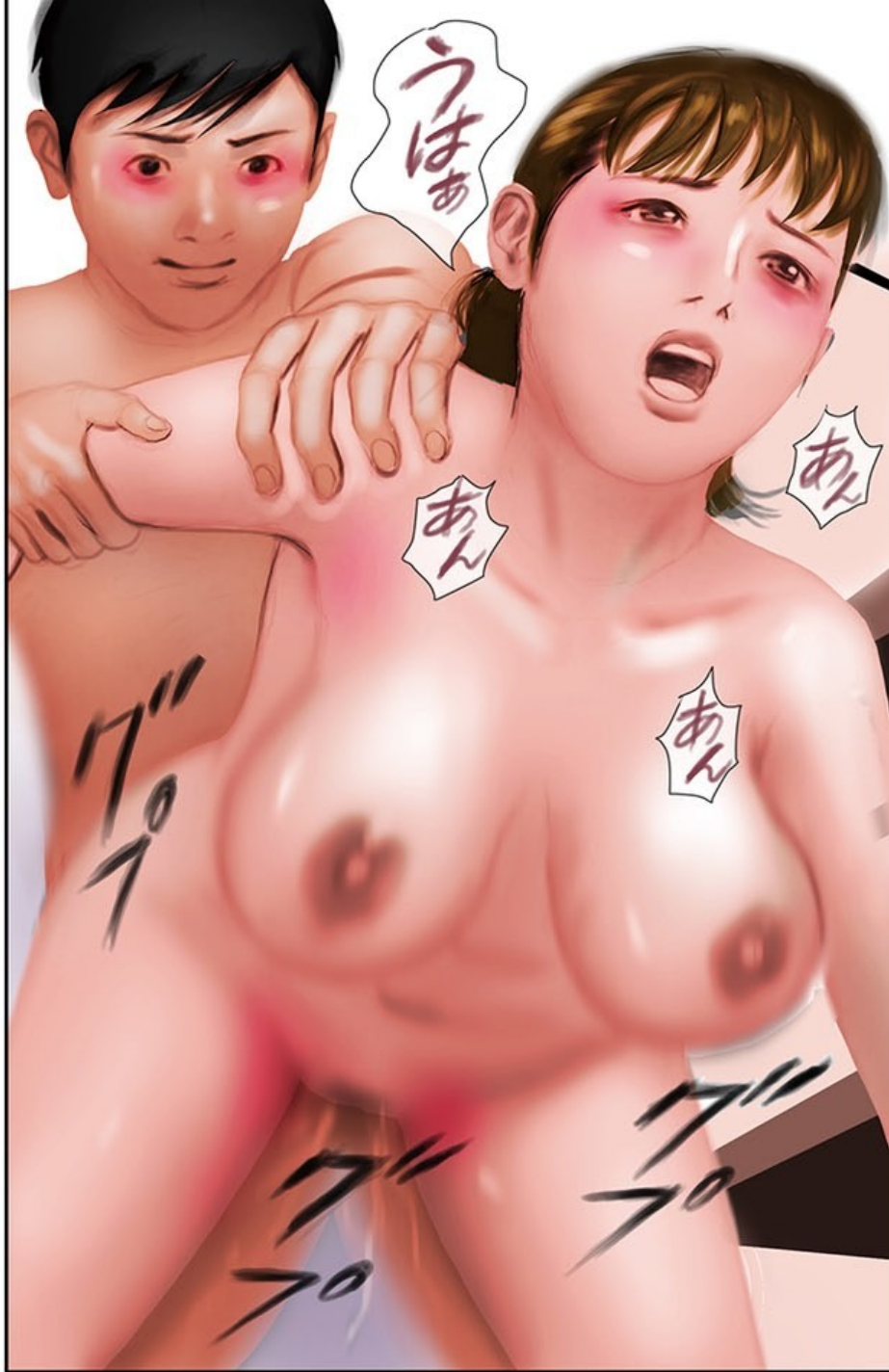
あん

あん

あん

俺も!

ああ  
イクう~~~~





先輩  
OL  
の  
恥態  
に  
欲情  
した

揺

れる

電車



その電車で  
同じ会社の  
女子社員を  
見かけた

あ…



俺はある中小企業の  
サラリーマン26才

俺は満員電車がいやで  
いつも早めに出社していたが  
その日は寝坊をした



その彼女がちよっと  
様子が変わったのだ



彼女は安永聡美32才  
違う部署で人妻だ



痴漢か？



俺は彼女の容姿に  
惹かれていた

隙間から彼女の腰が見えた

あ！

スカートがたくし上げられパンツの中に手を入れられていた

ここは助けるべきところだが俺は彼女の様子に見入ってしまった

彼女の表情が悩ましくそそられたのだ

タタン  
タタン  
タタン

俺は彼女のパンツの中を想像した

指は尻の割れ目をたどって……

柔らかい尻  
なんだろうな

マンロー！  
ピクッ

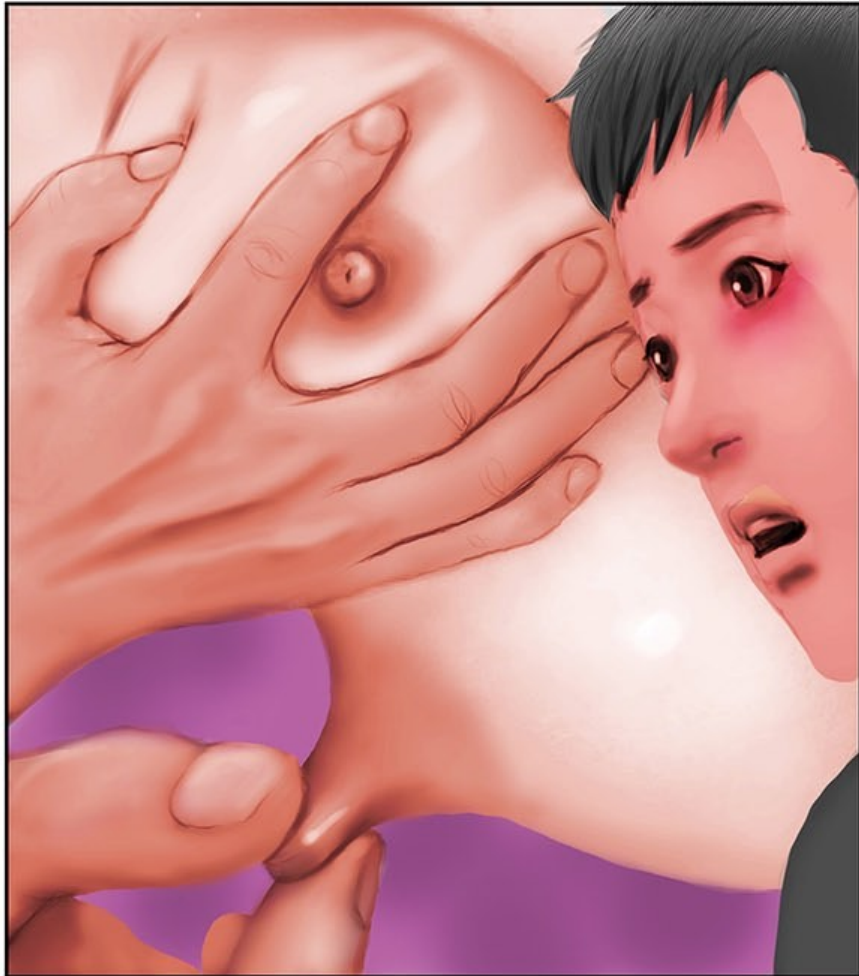
ゴッ



おそらく彼女は  
いないだろうと  
思っていたのだが  
……

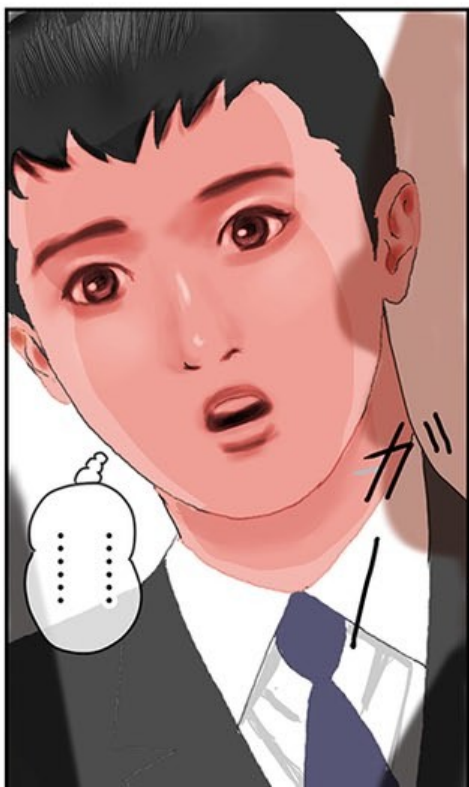


次の日も  
もしかしたらと思  
俺は同じ電車に乗った

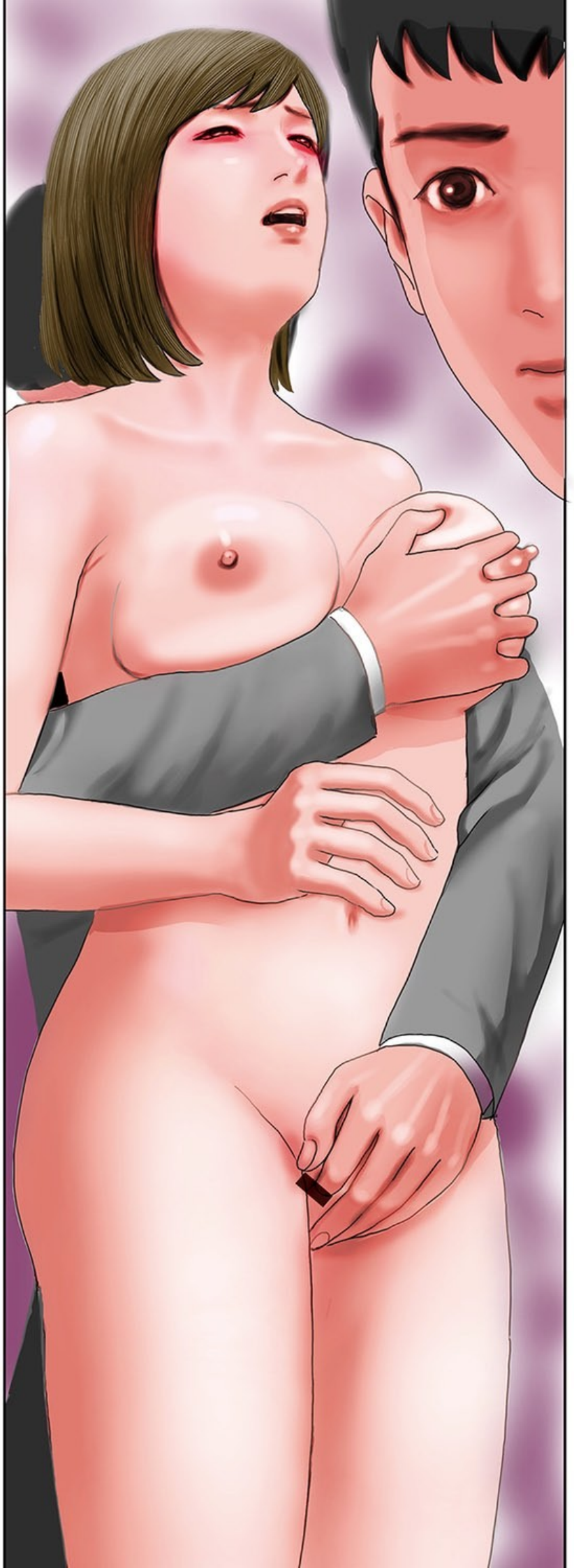


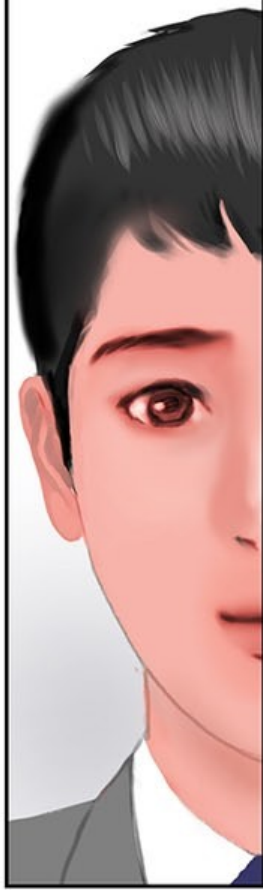
彼女はいた

ブラウスのボタンを外され  
手が中に侵入していた



でもどうしてだろう  
時間をずらして  
違う車両に乗れば  
いいのだ……

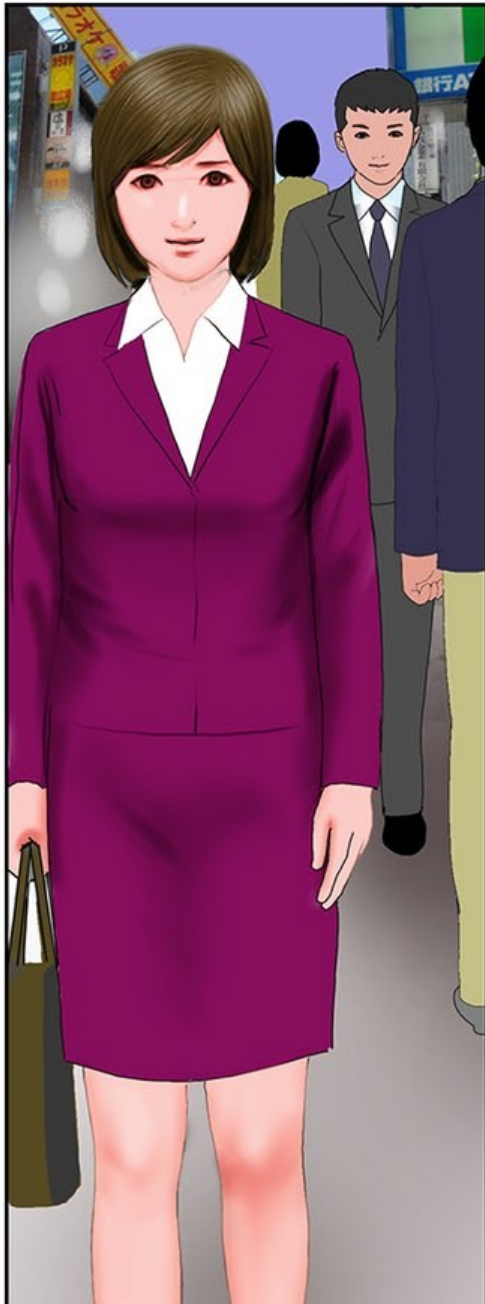




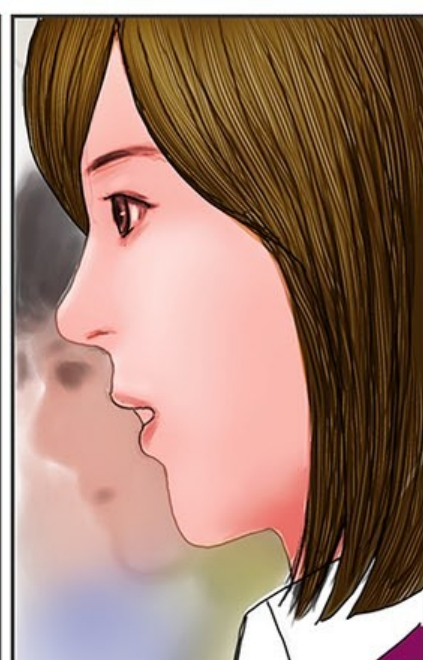
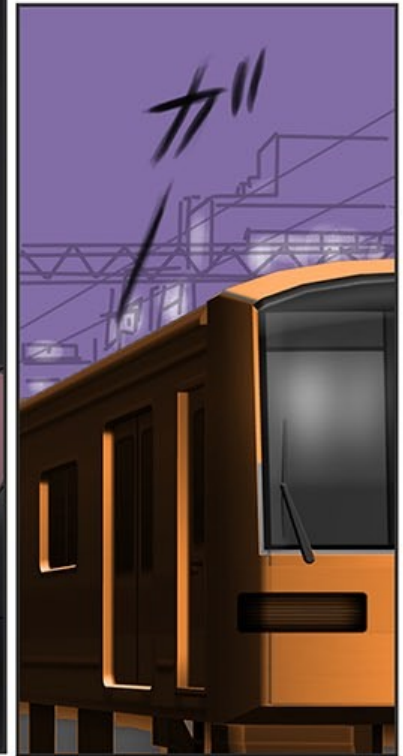
彼女は  
痴漢されることを  
望んでいる

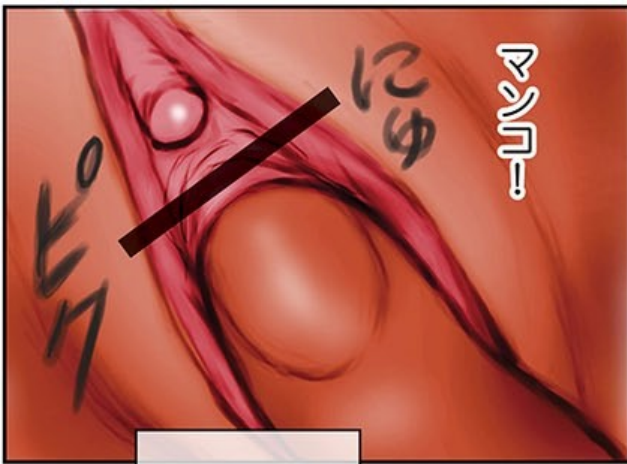
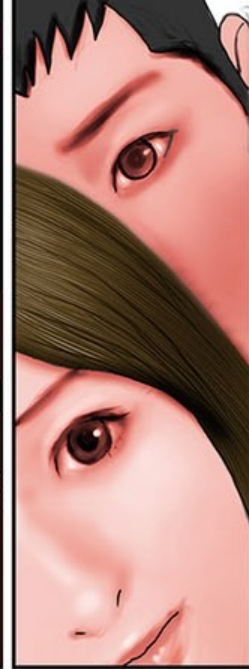


株式会社



俺は誘われて  
いるような  
感覚に陥った





拒んでない  
感じてるんだ

その時  
彼女が  
振り向いた

指を割れ目の  
奥へ進めた…

でも  
これVSSSS  
してあげよう……



タタン

タタン





やめてよ  
もう電車使えなく  
なるじゃない



電車中に  
言いふらし  
ちやおうかな



そんなの  
他の乗客に  
迷惑ですよ

一発やれる  
かも…



だったら  
俺の欲情した気分  
解消してくれませんか

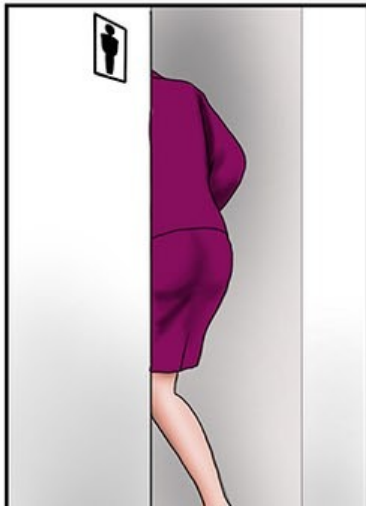


誰も  
いませんよ

ここで



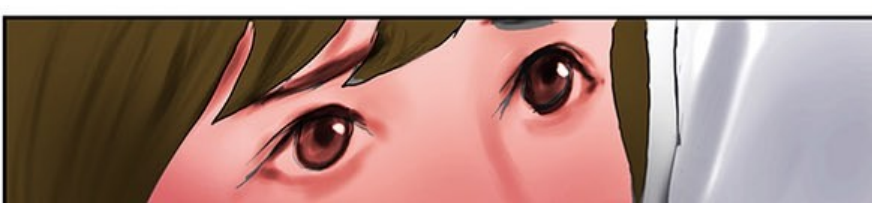
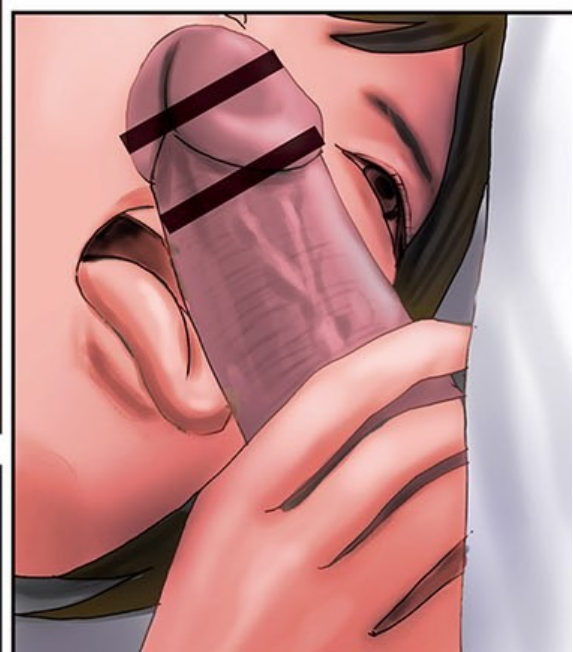
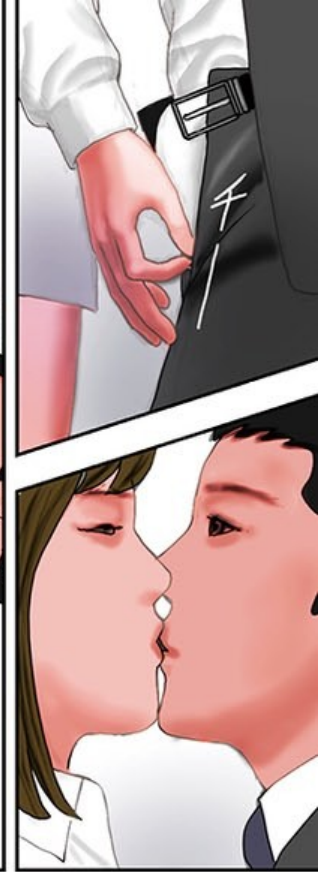
わかったわ

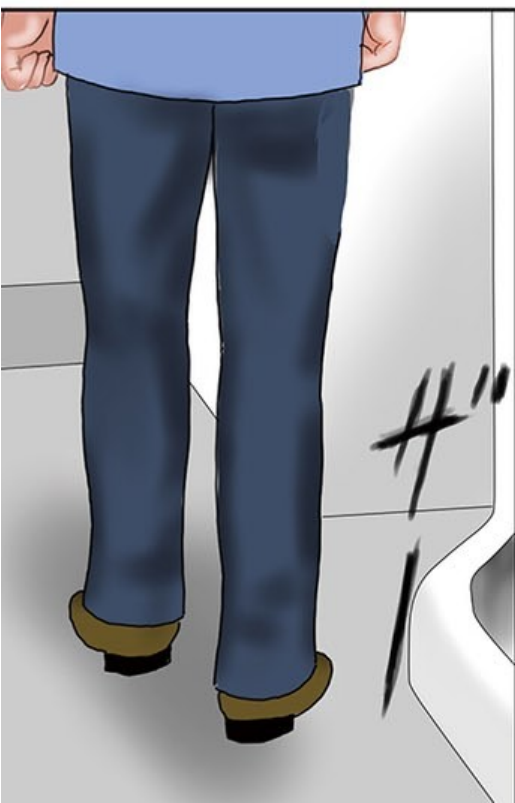
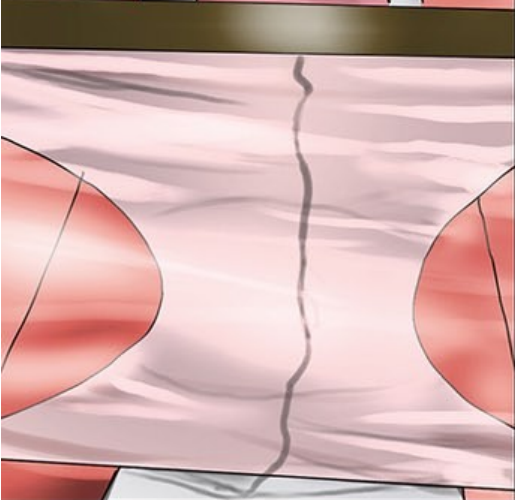
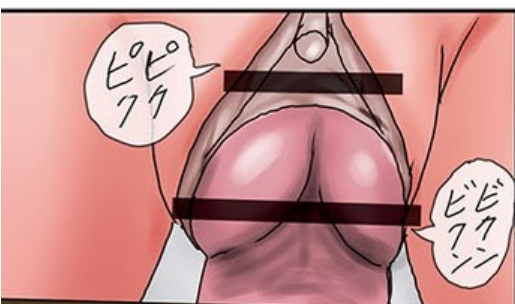
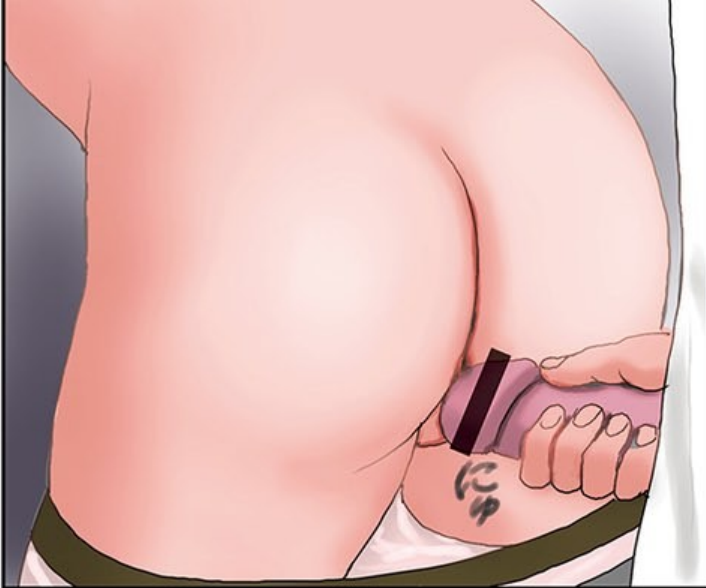
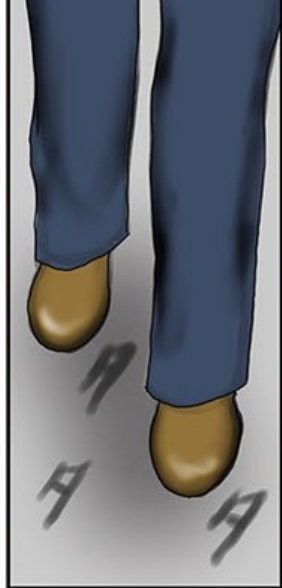


俺は  
チンコが  
ギンギン  
だった

やった!

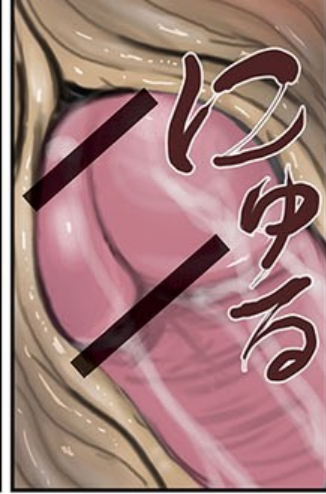








あはあ~~~~



にゆる



それじゃあ  
出発進行ですよ



あ

あ

あ

ぬふ

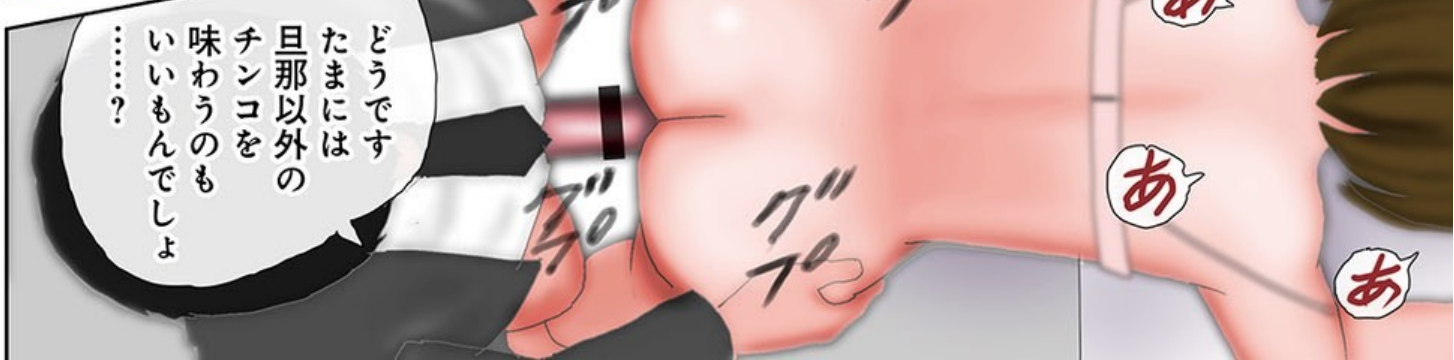
ぬふ

ぬふ

ぬふ

：膣肉が  
うねってる  
これが人妻の  
完熟マンコ  
たまらないな

あはあ



あ

あ

あ

あ

グ

グ

グ

グ

どうです  
たまには  
旦那以外の  
チンコを  
味わうのも  
いいもんでしょ  
……？





声大きい  
ですよ

あん

あん

あん

うはあ

あん

膣壁が  
狭まった

キユ

グ  
グ

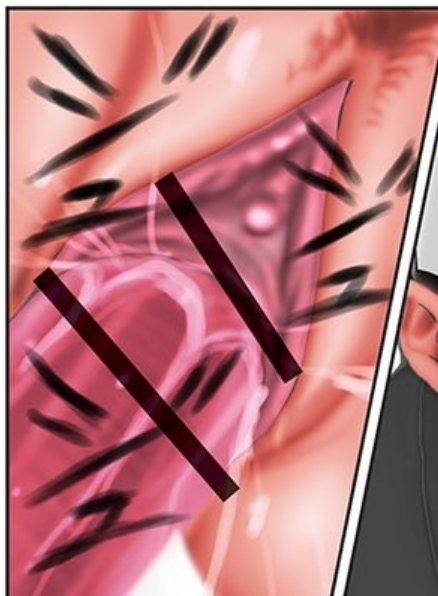


あ!  
あたしも

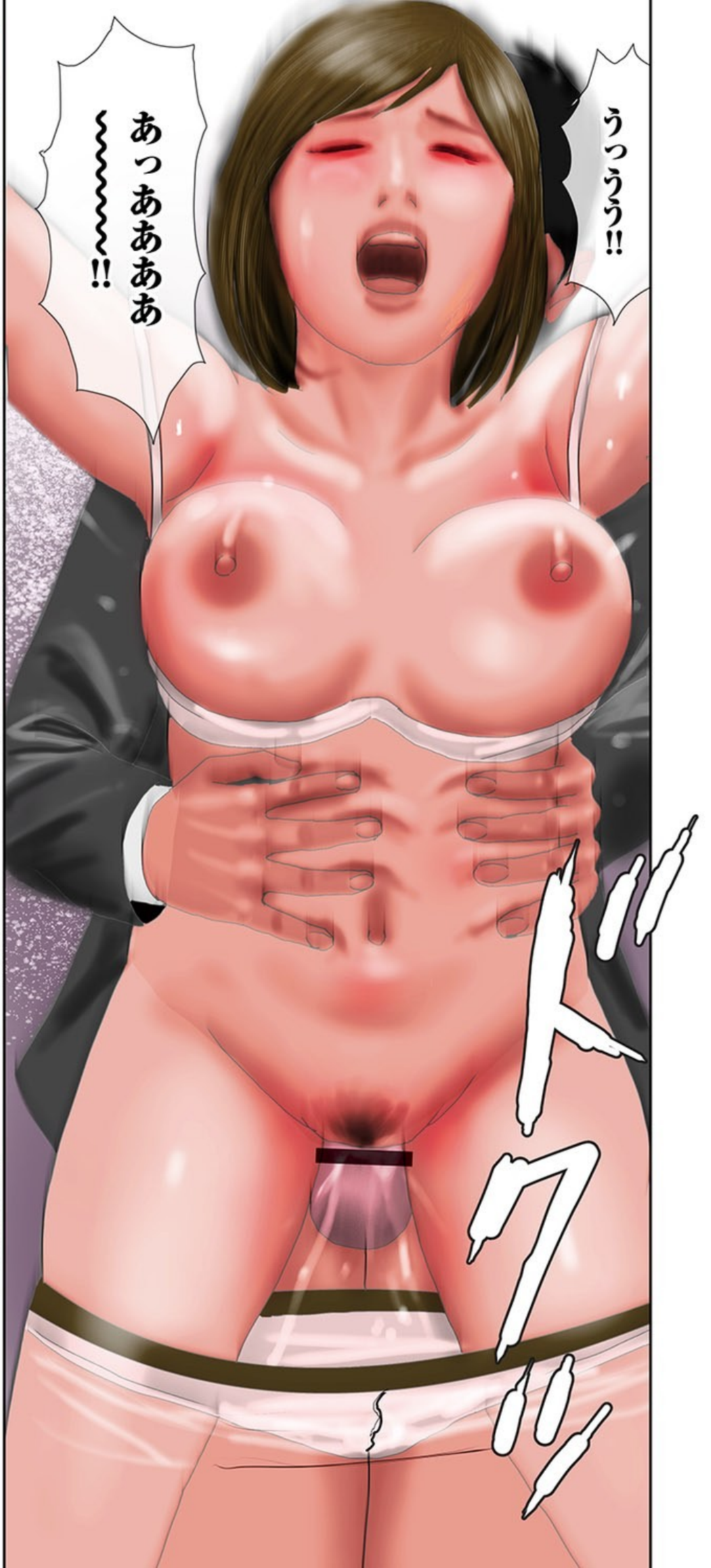
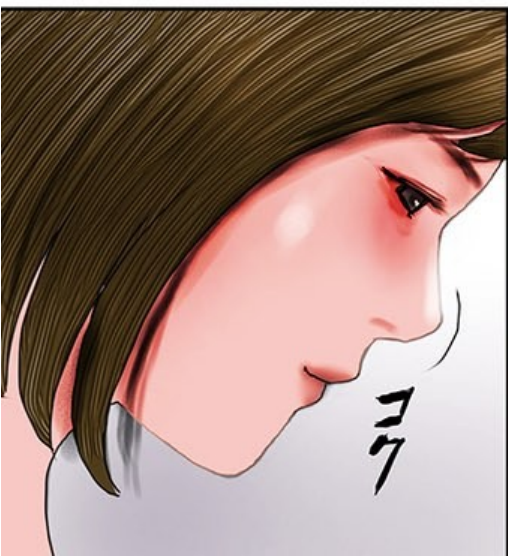
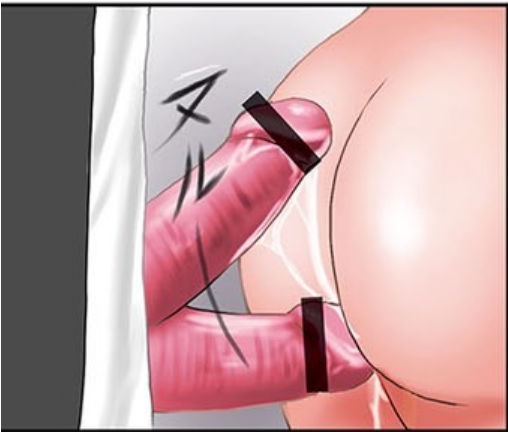
イク

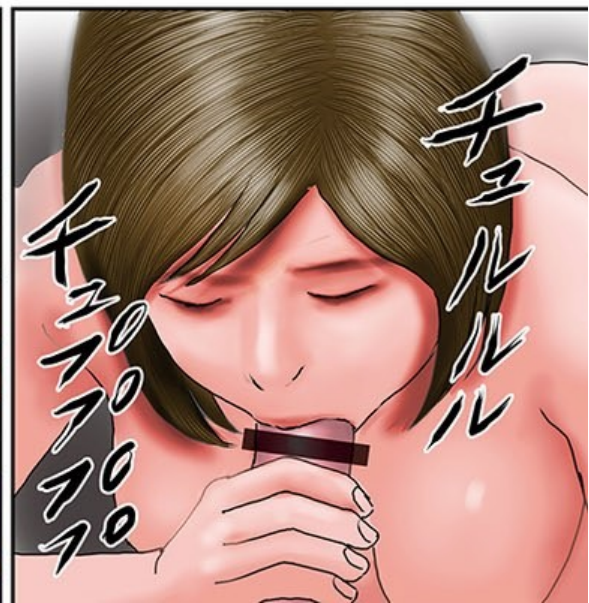
イク

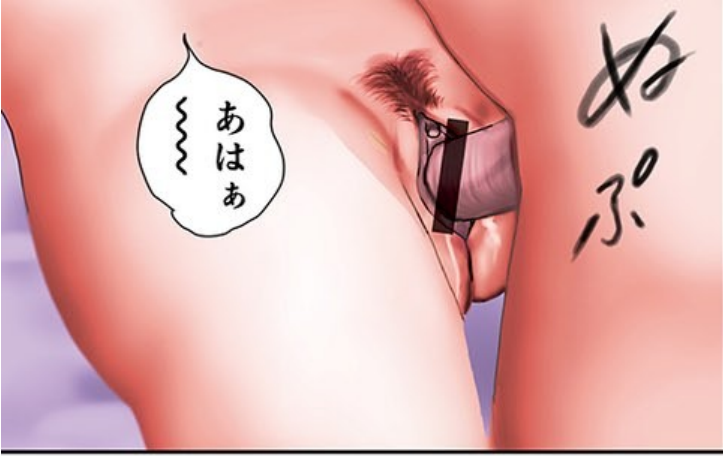
イクうく



ああ  
イク!

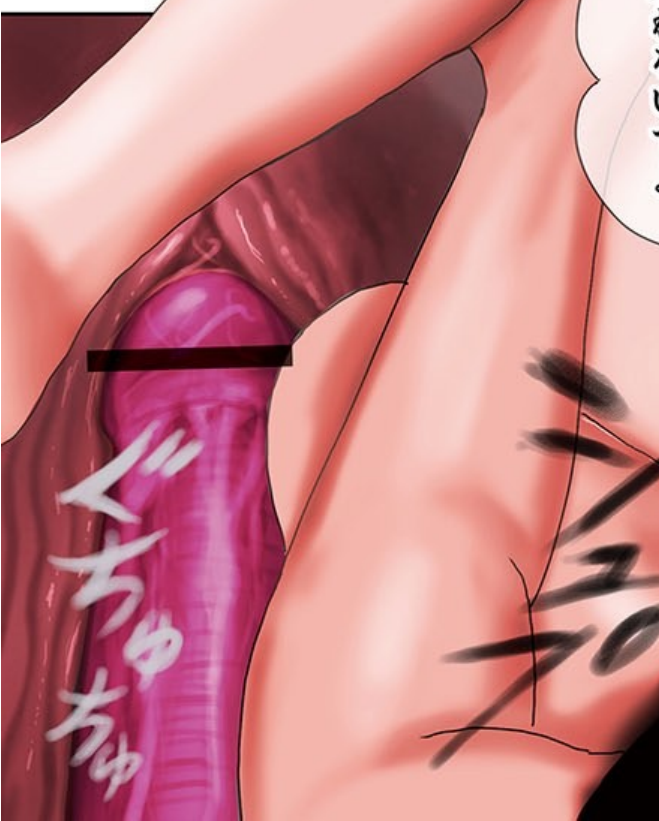






いつか  
結婚したら  
その気持ち  
忘れないでよ

あーいいオマンコだ  
俺だったら絶対  
飽きたりしませんよ



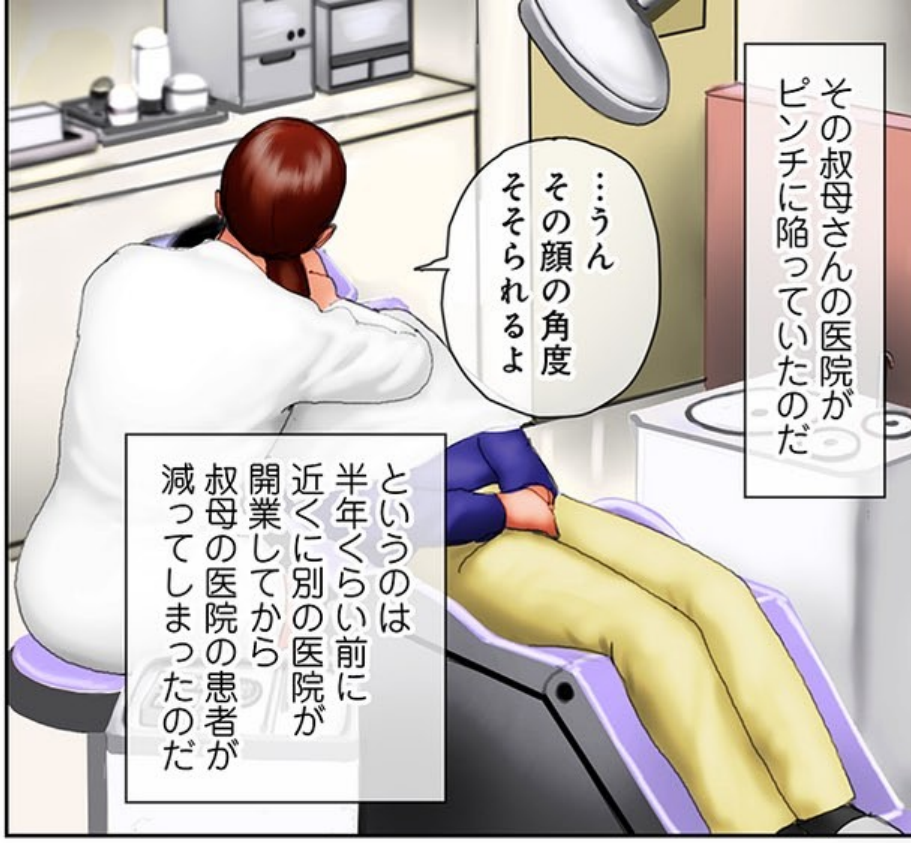


熟女歯科医師の

叔母さん

じゅくじょ  
しかいしの  
おばさん





その叔母さんの医院が  
ピンチに陥っていたのだ

…うん  
その顔の角度  
そそられるよ

というのは  
半年くらい前に  
近くに別の医院が  
開業してから  
叔母の医院の患者が  
減ってしまったのだ



俺は20歳の大学生

俺の叔母の美奈代<sup>みなよ</sup>さんは  
歯科医師で43歳



…やっぱり  
この格好は  
無理よ

ブラはつけてた  
ほうがいいかな

彼女は20代で可愛らしく  
愛想がいいとネットで評判に  
なっていたのだ



主に  
男性患者  
だった

時折  
患者の目を  
見つめて



原因はおそらく  
その医院の女医だと  
推測された



本当…

甥の俺が  
鼻肩目なしで見て  
叔母ちゃんは  
十分魅力的だよ



そこで俺は  
お色気にはお色気で  
対抗しよう  
叔母に提案したのだ

そして男が  
喜びそうな事を  
レクチャーした

…  
さりげない  
スキンシップが  
肝心だよ

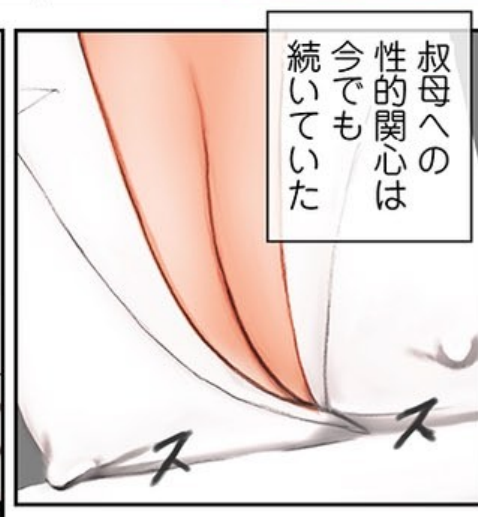
…若い娘と  
張り合っても  
勝ち目ないん  
じゃない  
かしら

いや  
叔母ちゃんが  
その気になれば  
負けるわけないよ



そのくらいのこと  
しないと

三代続いた  
この医院  
潰したく  
ないでしょ



叔母への  
性的関心は  
今でも  
続いていた



叔母ちゃん  
胸を顔に  
押し付けて

…  
…  
…



このレクチャーは  
半分以上俺の  
すけべ心から  
くるものだった



俺が性に  
目覚めたのは  
叔母だった

うちの人は  
もうあたしの  
ことなんか  
見向きも  
しないわよ

それは見慣れ  
ちゃってる  
からさ



……  
こう？

……もう少し  
強くても  
いいんじゃないかな



これぐらい？

あー  
たまらない

これはいけるよ  
患者は喜ぶよ  
でもわざと  
やってるって  
バレないようにね  
さりげなくだよ

俺は  
叔母の豊満な胸に  
顔を埋めたいという  
願望があったのだ



……



俺は叔母を  
犯そうと  
思っていた  
……

でも  
踏みとどまった  
……

叔母ちゃんは  
腕もいいしさ  
きつと医院は  
盛りかえすさ  
頑張ってるね



……叔母ちゃんは  
俺の邪な気持ちをお見通しだったんだ  
……それでも  
この提案に乗った  
……

え……まさか……  
ええ……

なーんだって  
言ったのは  
……  
がっかりしたって  
ことか……



なーんだ  
こんな格好  
させられたから  
何されるのかと  
思ってたわ

え……



これで  
おしまい



…まだレクチャー  
することあるの



叔母ちゃん  
もう少し  
続けようか



もう  
始まっているの

そうだよ

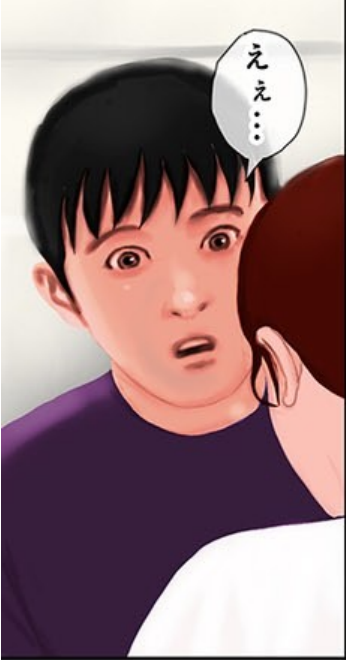


……俺  
叔母ちゃんの前から好きだった  
叔母ちゃんのこと  
が欲しいって思ってた



それは  
おしまい

今度は医師と  
患者じゃないよ  
叔母に憧れてる甥と  
その甥の思いを  
受け入れてくれた叔母  
という設定だよ



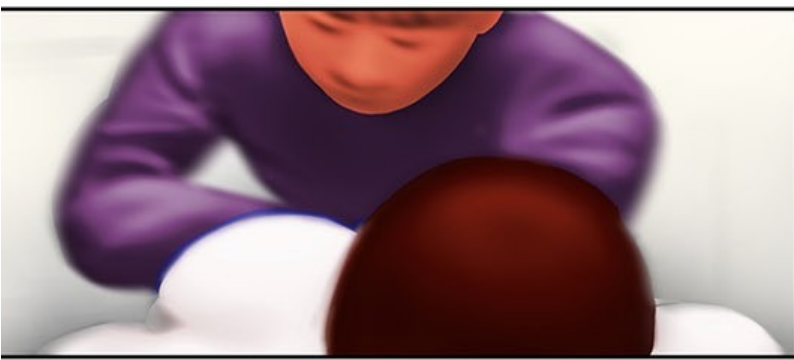
ええ…



正直迷ってる  
本当にいいの  
かなって



いいん  
だよ



あたしにはあんたと  
そう変わらない年の  
娘がいるのよ

それが  
どうしたんだよ

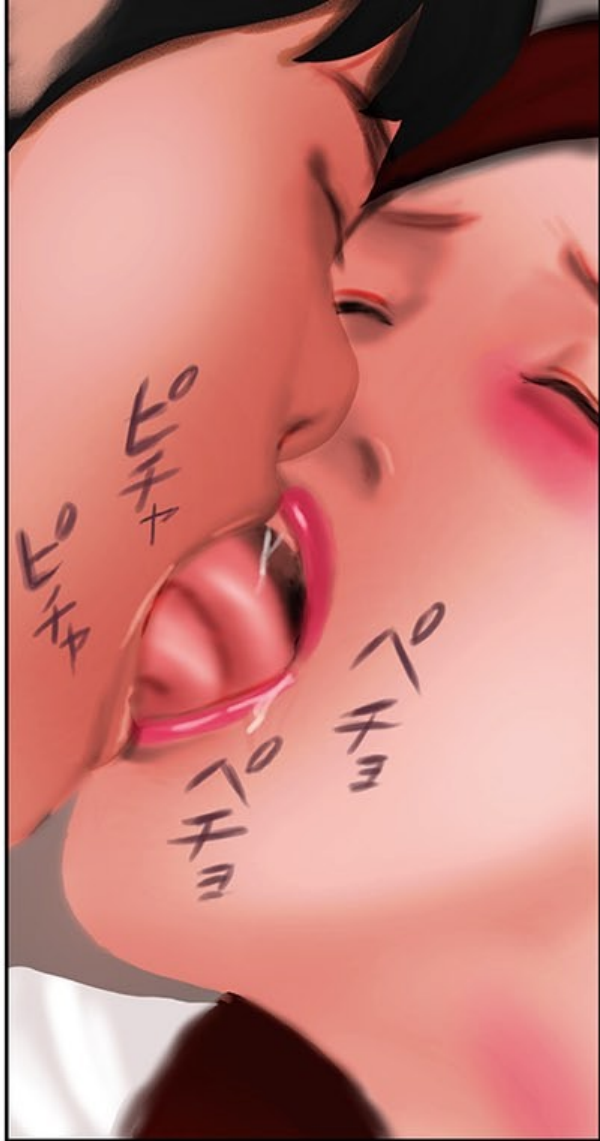
それだけ  
年が離れてる  
オバサンでことよ

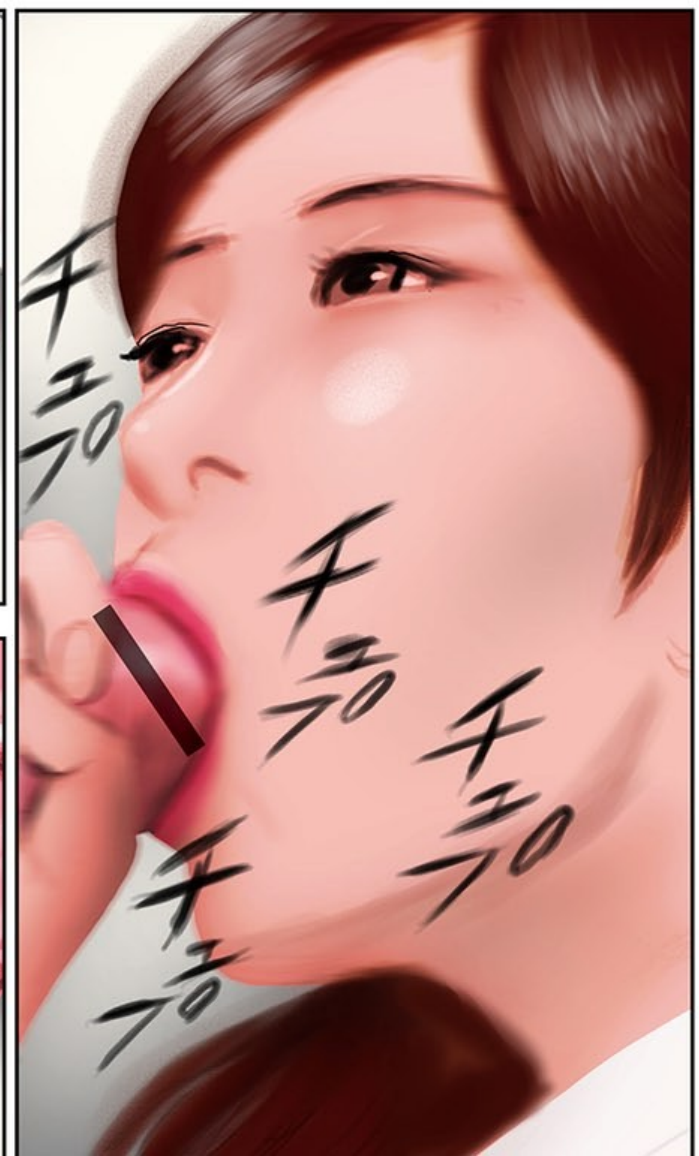
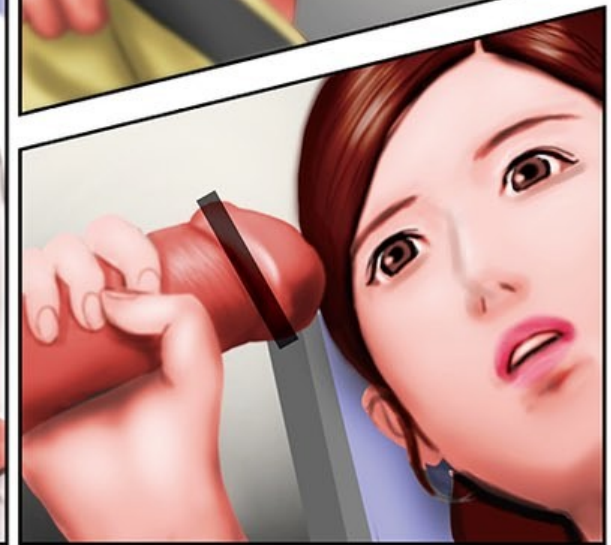
そんなこと  
気にならないよ  
叔母ちゃん  
魅力的だって  
言ったら





割れ目がぐっしより  
だった





美奈代さんの  
オマンコも見せて

ダメ見ないで  
使い古してるから  
恥ずかしいわ

年季が入って磨きが  
かかっているんじゃない

叔母のオマンコは  
高校時代の元カノの  
処女マンと比べ  
かなり卑猥に見えた

……  
いやらしい

褒めてるんだよ  
セクシーで  
そそられるって  
ことだよ

だから  
言ったじゃない



んふ  
……

あ



ああ……  
……うん

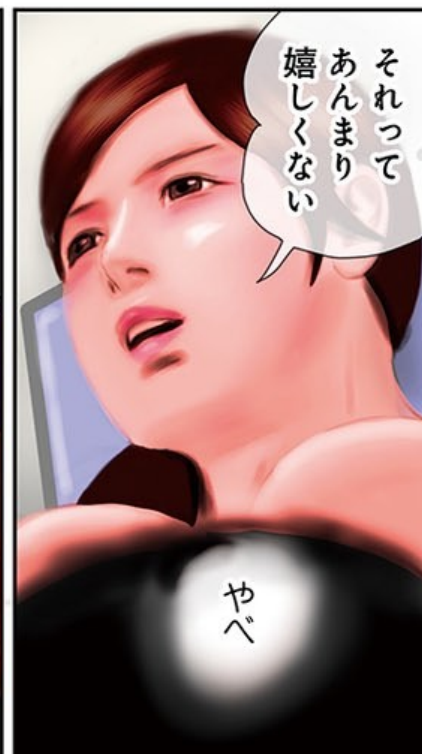


濃厚な味で  
美味しいよ

この味は  
年を重ねないと  
出ないんじゃないかな



とにかくさ  
美奈代さんは  
魅力的だよ  
自信持っていていいよ

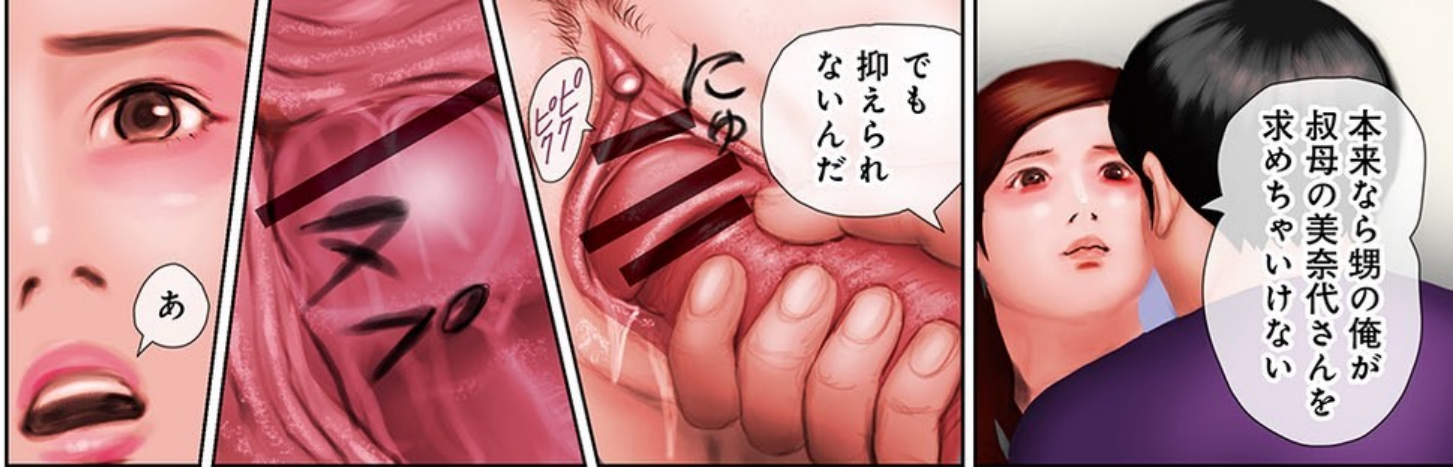


それって  
あんまり  
嬉しくない

やべ



果物だって  
ちよっと腐りかけの  
ほうが美味しかったり  
することあるだろ



あ

にゅ

でも抑えられないんだ

本来なら甥の俺が叔母の美奈代さんを求めちゃいけない

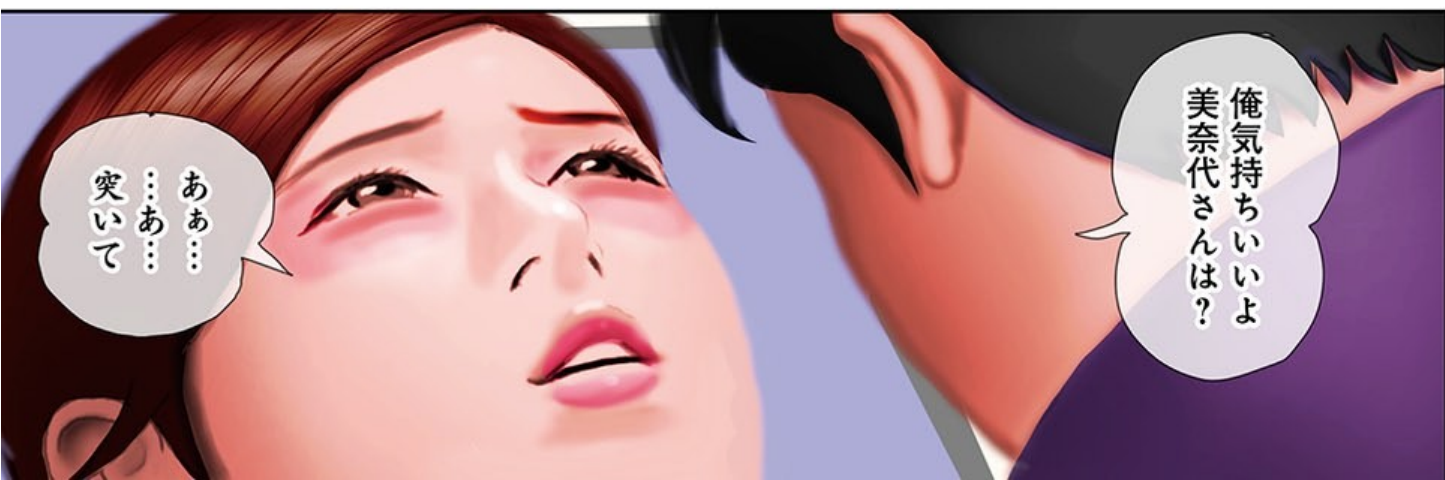
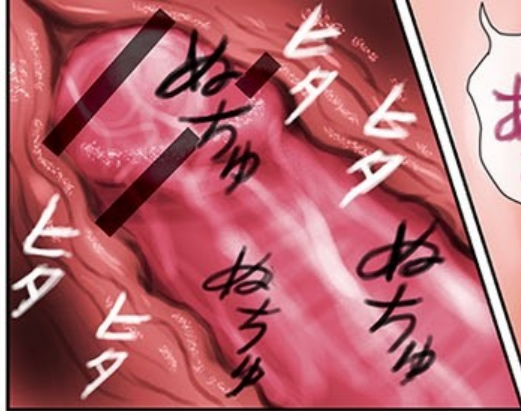


ああく

それは美奈代さんがいい女だからだよ

にゅ

にゅ











んんんん

美奈代さん  
若いエキス  
欲しくない!?

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

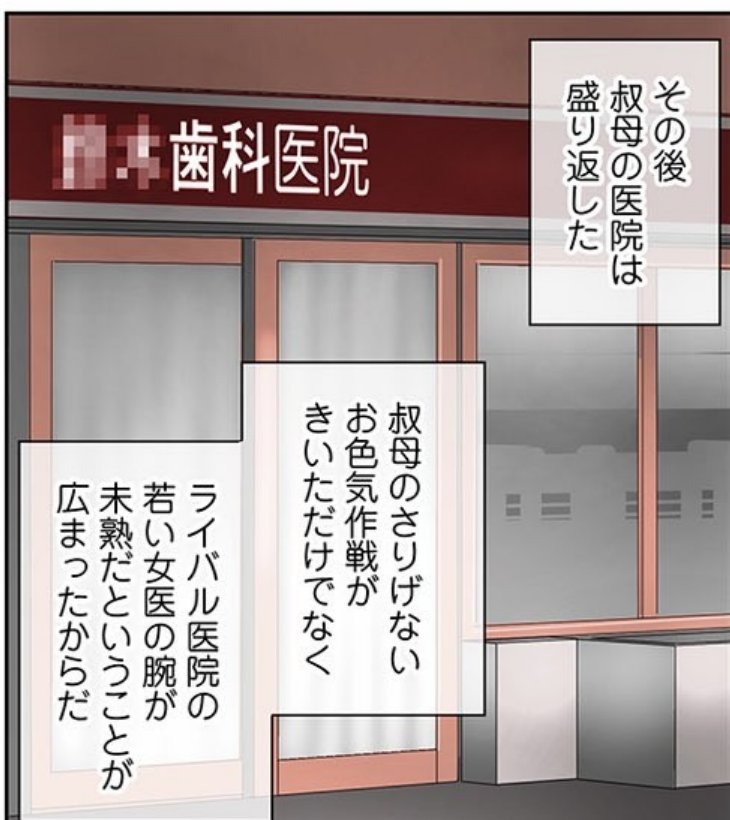
あん

あん

ほしいわ!  
いっばい  
ちようだい!!



あはあく〜!



その後  
叔母の医院は  
盛り返した

叔母のさりげない  
お色気作戦が  
きいただけでなく

ライバル医院の  
若い女医の腕が  
未熟だということが  
広まったからだ



はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

……  
若いエキス  
もっと注入  
してくれる

……  
美奈代さんは  
最高だよ

END

# 許された義母相姦

ゆるる

わたしは勤めていた画廊のオーナーと結婚しました  
わたしは32才  
主人は51才です

わたしは主人を尊敬し心の広い人柄に惹かれたんです

そして結婚しても家に縛ら  
ず主人がいくつか所有する画廊の一つをわたしに任すと  
言ってくれたのも結婚に踏み切った理由の一つです



わたしは画廊を持つのが夢だったんです

ここはもう君の画廊だ

好きなようにしていいからね

一生懸命頑張ります



いつか僕の作品も展示してね

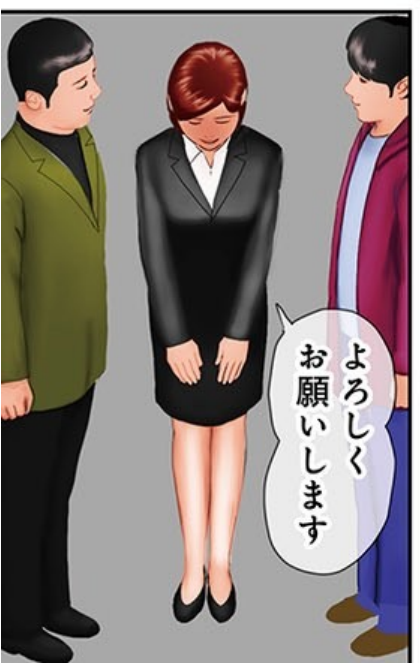
父さんよかったね

こんな若くて綺麗な人がお嫁さんに来てくれてさ

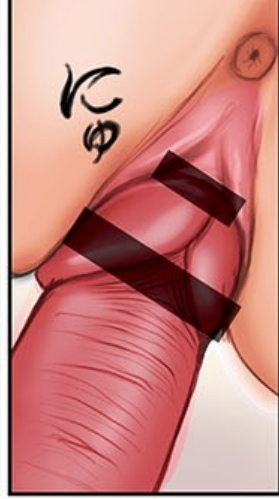
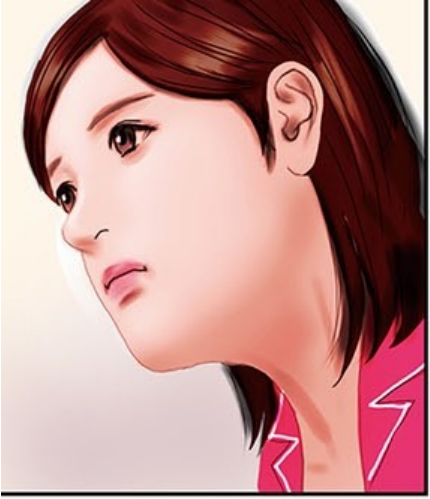
よろしく  
お願いします

主人の連れ子の正樹くん  
美大に通っています

3人で仲良くやろうな







こっちの方は最初から  
あまり期待して  
いませんでした



…すまん



……  
気にしないで

俺と結婚したこと  
後悔してないか

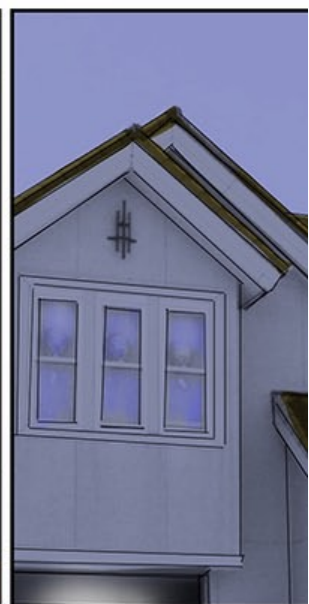
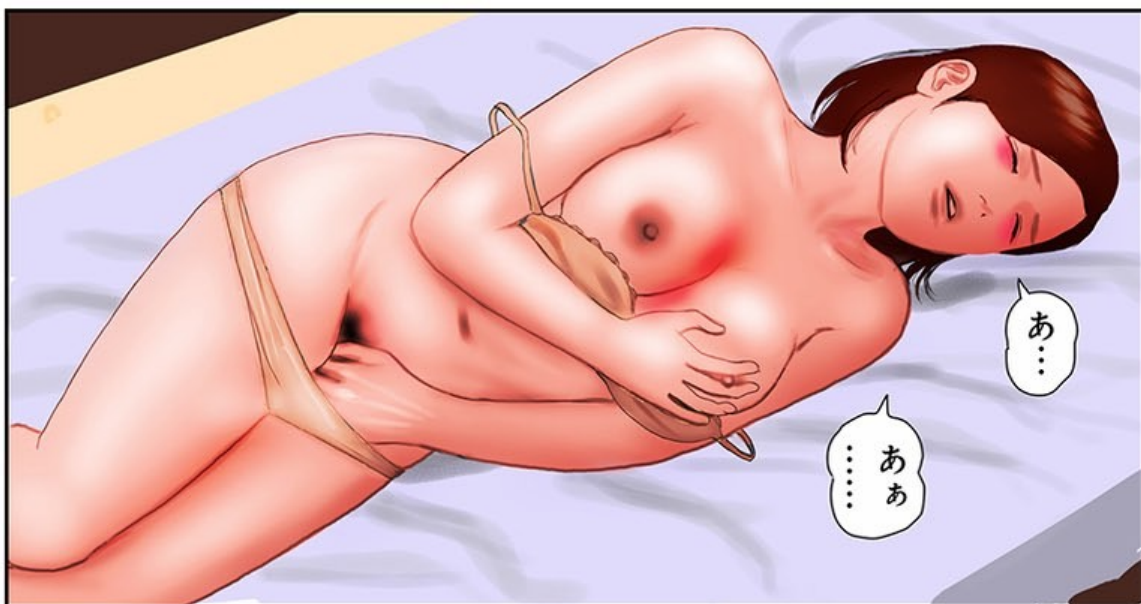


やりがいのある  
仕事があれば  
わたしは十分  
満たされると  
思っていました



あなたと一緒に  
暮らせてるだけで  
わたしは幸せよ

何言ってるの  
そんなこと  
思ったことないわ





それは  
ちよつと  
勤弁して

下着姿なら  
いい？



わたしは  
引き受けました

えー  
裸婦デッサン



ありがとう



まあ  
いいか



うーん  
……



だけどそれは  
デッサンが目的では  
なかったんです




それに義理の息子の  
役に立ちたいと  
思ったんです




わたしも絵画に  
携わっていたから

こういう事も  
ありだと思い……




正樹くんが  
わたしを求めて  
きたのです

ここは  
冷静になって  
たしなめようと  
思いました




ダメよ  
モデルに手を  
出すなんて

絵画を志す人の  
することじゃないわ




だけど  
正樹くんの  
発した言葉で

父さんに  
頼まれたんだ  
麻美さんのこと  
抱いてくれって

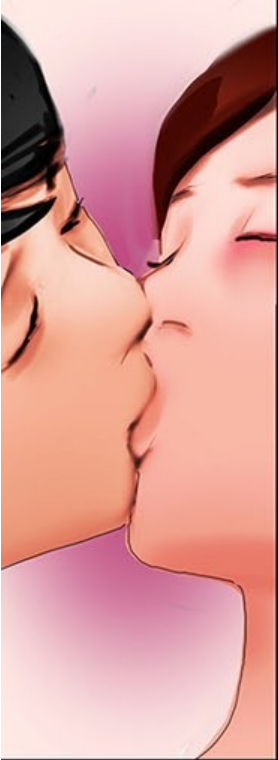


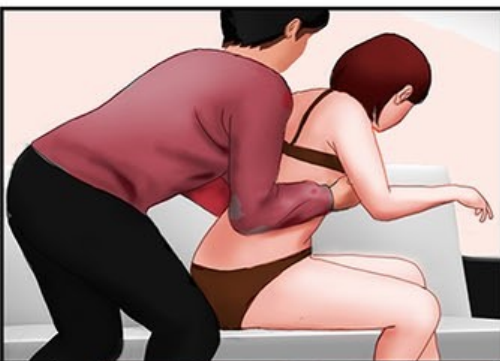
身体が固まり  
言葉を  
失ったんです

俺のチンコで  
麻美さんのこと  
満足させてくれって  
言われたんだ



ええ！







.....  
オマンコ  
濡れ濡れだ  
.....やつぱり  
溜まってたんだね

あふ  
ああん

んんはあ

正樹くんの指は  
奥の方まで差し込まれ  
かき回していました

そのいやらしい音が  
耳に届いて興奮が  
高まっていきました

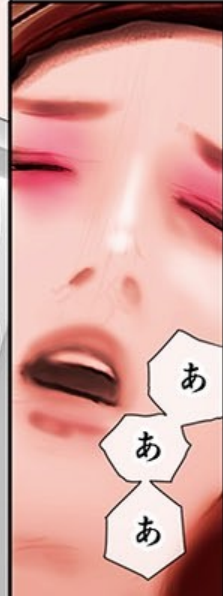
ぬちゅ  
ぬちゅ  
ぬちゅ  
にゅにゅ  
にゅにゅ



あく  
感じるう



あはあ~~~~



あ  
あ  
あ



グ  
グ  
グ  
グ



わたしは  
待ちきれず

ズボンの中から  
ペニスを取り出し

あー  
たくましいわ

むしゃぶり  
つきました

ハク

そして  
恥じらいもなく

正樹くんの  
固いオチンポ  
あたしの  
オマンコに入れて

レロ  
レロ  
レロ

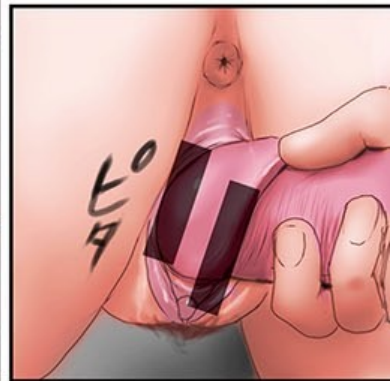
レロ  
レロ  
レロ



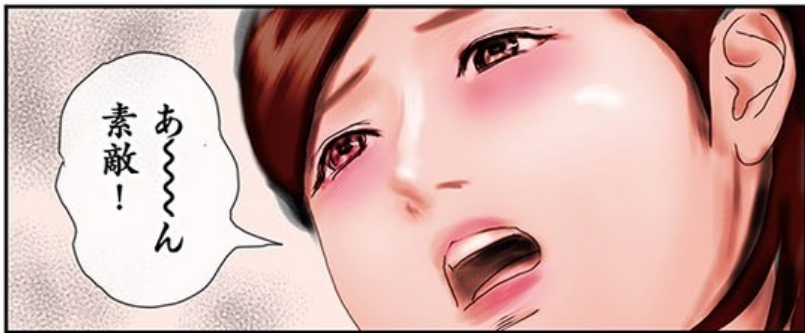
あはあ



オマンコ  
だなんて  
麻美さん  
エッチだな



ピタ



あ~~~~ん  
素敵!



ペニスは  
膣肉を  
押し広げ  
ゆっくり  
侵入して  
きました



んああつ

次第にピストンの  
勢いが増してきました



あ あ

ぬちゅ

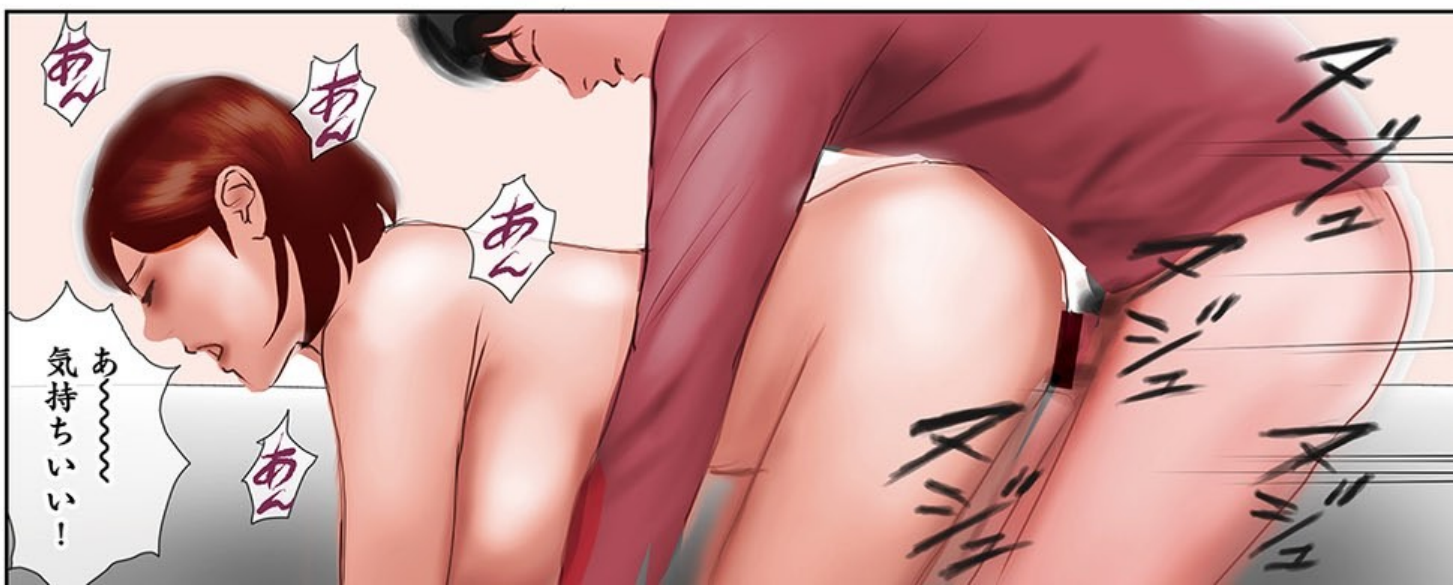
ぬちゅ

ぬちゅ

ズズズズ



義理の息子に貫かれ  
わたしは鳥肌が立つほど  
快感を覚えています







ああああく

大満足でした  
でも罪悪感も  
わいていたのです

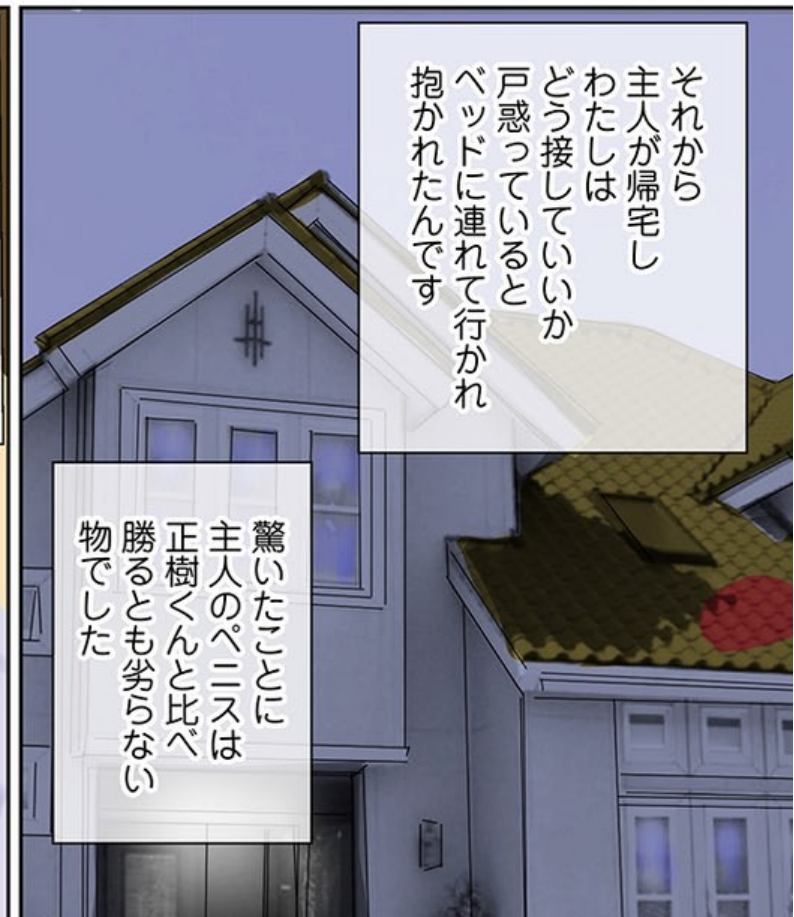


あ—  
すごい

たまた  
ないわ

主人が正樹くん  
わたしを抱かせたのは  
わたしのためだけでなく  
自身の回春の刺激を得る  
ためだったようです

今わたしは  
なんの不満もなく  
充実した生活を  
送っています



それから  
主人が帰宅し  
わたしは  
どう接していいか  
戸惑っている  
ベッドに連れて行かれ  
抱かれたんです

驚いたことに  
主人のペニスは  
正樹くんと比べ  
勝るとも劣らない  
物でした

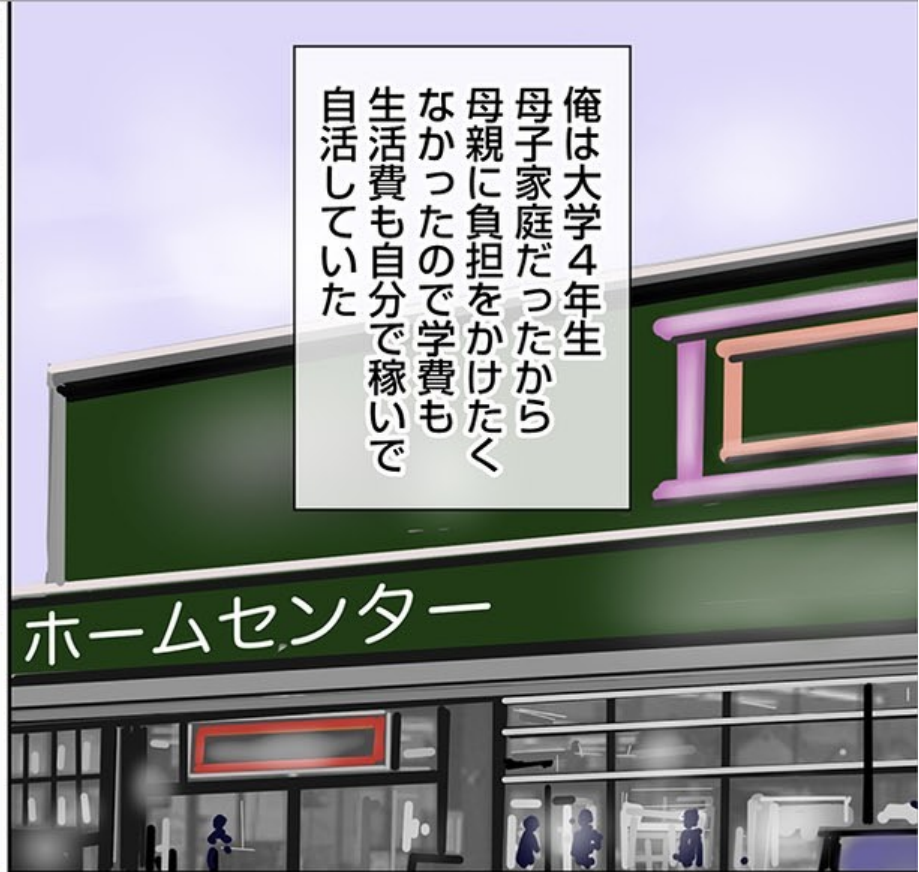
パート妻の甘い唇





そんな生活も  
もうすぐ終わる  
就職が決まり大学を  
卒業するからだ

だが俺はやり残した事がある  
あると思っていた



俺は大学4年生  
母子家庭だったから  
母親に負担をかけたく  
なかったので学費も  
生活費も自分で稼いで  
自活していた



…あたし  
この動画アプリに  
はまっているの

彼女も俺に  
好意を持って  
いるように  
感じた



そんな時  
最後となる  
アルバイト先で  
パートの人妻と  
親しくなった

休憩時間が重なり  
いつも二人きりで  
色々話してるうちに  
俺は彼女に惹かれて  
いった



……  
沢口さん  
キスして  
いいですか？

え…



さわぐちみか  
沢口美香 33歳

ほら  
可愛いでしょ

……  
本当だ

旦那は単身赴任中で  
子供は保育園見だ



バイト先で  
沢口さん  
みたいな  
綺麗な年上の  
お姉さん達に  
目がいつて  
しまうんです

俺同世代のコは  
子どもっぽく思えて  
あんまり興味が  
わかないんです



俺  
キスしたこと  
ないんです

高校時代から  
バイトしていて  
彼女を作る暇も  
なかったけど



だからまだ童貞  
なんです

社会人になる前に  
初体験とまでは  
いなくても  
キスぐらい  
済ませておきたいと  
思ってるんです



……  
ダメか

勝手なこと言って  
ごめんなさい

ファーストキス  
あたしなんかで  
いいの



いいわよ  
今まで  
頑張ってきた  
ご褒美





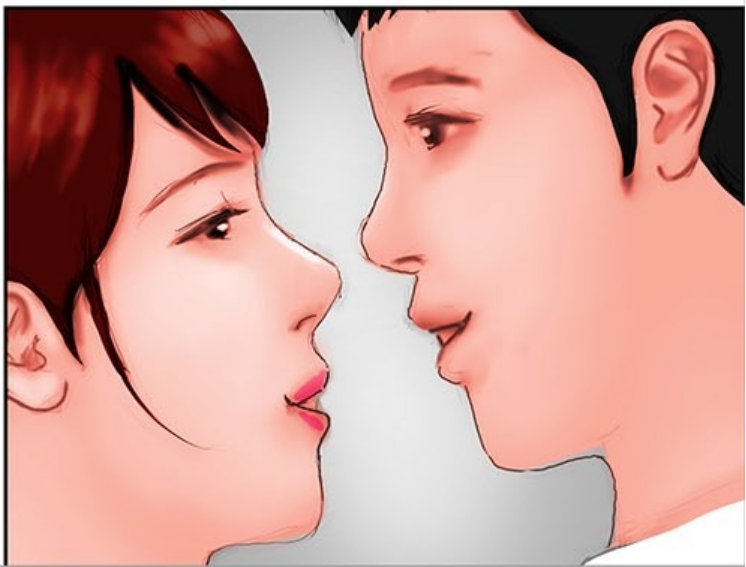
ちよっと  
背徳感のある  
甘い味がした

人妻との  
ファーストキス



どういたしまして

ありがとう  
ございました





それから  
俺たちは  
……



…お尻  
触ってもい  
いいですか？

…うん



休憩時間のたびに  
キスを交わした  
最初は挨拶の  
ようなものだったが  
……

回を重ねるごとに  
濃厚になっていき……



尻に触れると

服の上からでは  
わからなかったが  
意外に丸くて  
ポリユーム感が  
あった

興奮は  
増していった



あー  
興奮する

ぴちゃ  
ぴちゃ



パンスト越しにも  
十分むっちり感が  
伝わってきた



チンコは  
盛り上がり

その勢いは  
沢田さんの下腹に  
伝わったのか…



……  
ゴム無い  
ですけど

え……  
そういうことじゃ  
なくて



いいん  
ですか

筆下ろしを  
してくれる  
のかと思った



え……!

オチンチン  
出して

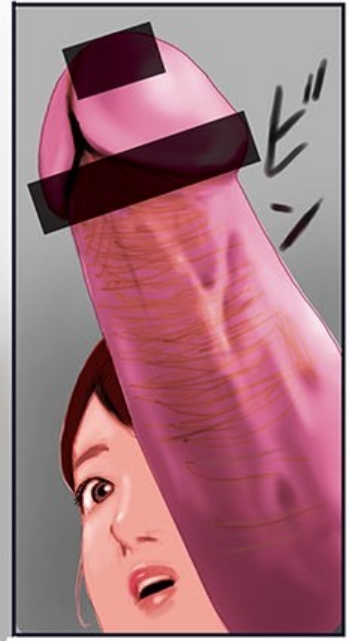


スツキリ  
してあげるわ

鎮めておかないと  
仕事に差し障る  
でしょ

……  
硬いね

くぅ〜



筆下ろしを  
期待したが  
やはり人妻  
それは無理なん  
だろうと思った



あー  
たまらない



自分で擦るのとは  
桁違いの快感だった



ちよつと  
がっかりしたが  
そんな気分は  
すぐに吹き飛んだ

あ……  
あ……  
あ……

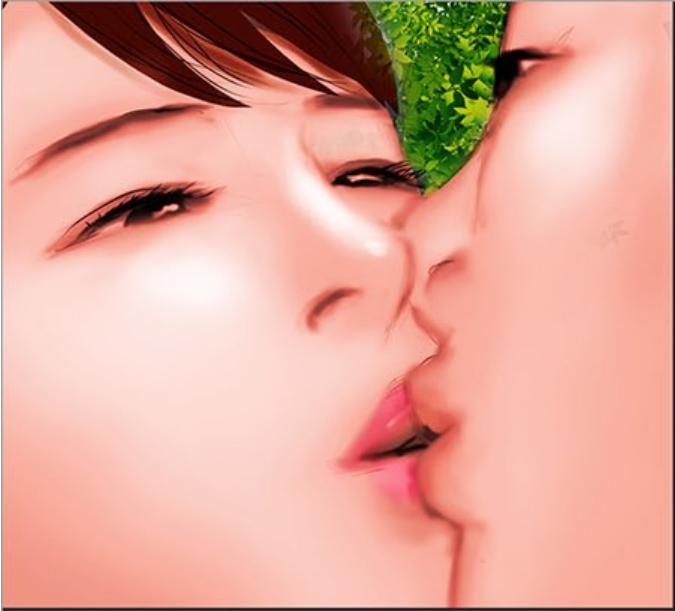


居酒屋で  
酒が入り  
ほろ酔い気分で  
店を出た

そしてアルバイト最後の日  
沢口さんは子供を  
実家に任せて俺の卒業祝いにと  
食事に誘ってくれた

それから  
俺は大学の卒業式を終えた

センター



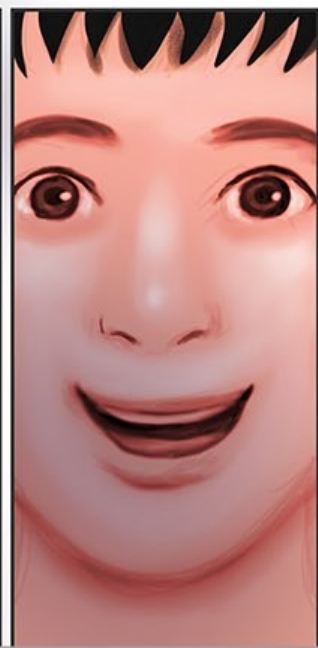
別れのキスカ  
……



社会人になる前に  
童貞も卒業したかった  
んじゃないの



天にも昇る  
気分だった



今日は  
そのつもりで  
誘ったの



あたしで  
よかったら

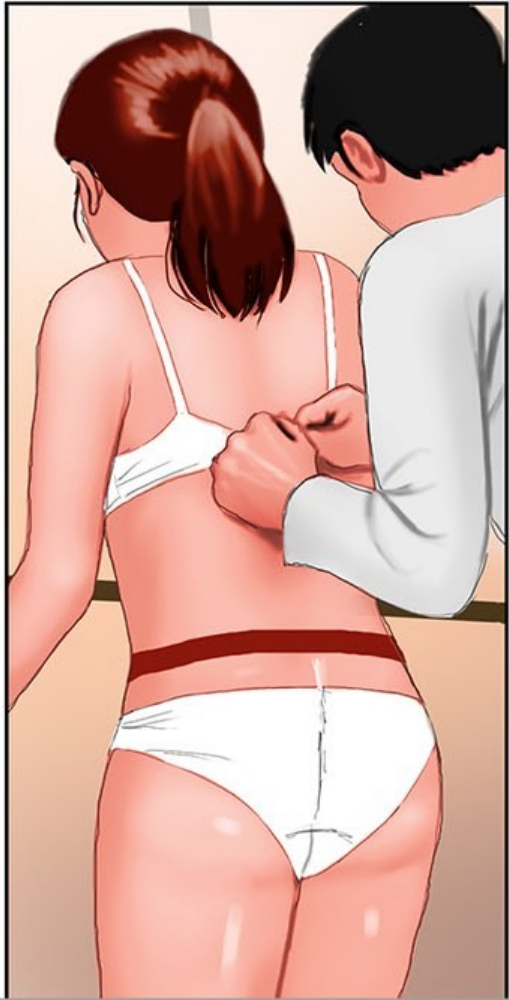
えー!



それに  
時間が  
惜しいです

シャワー  
浴びてくる

俺  
沢口さんの匂い  
好きだから  
このままで…

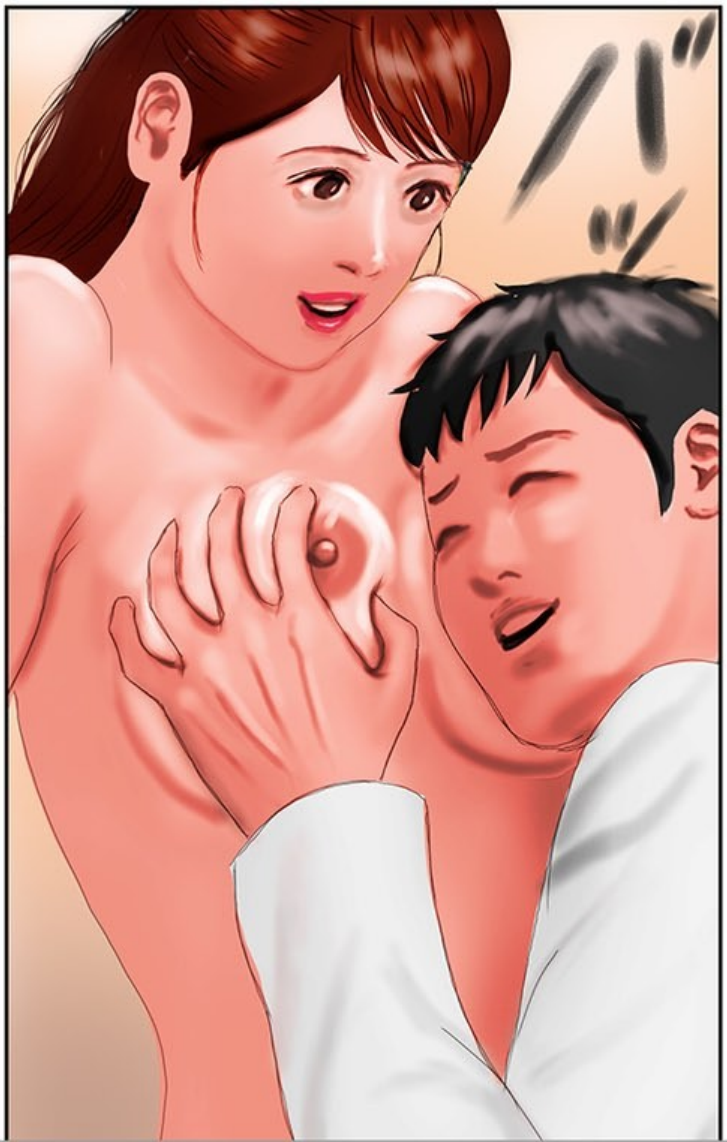
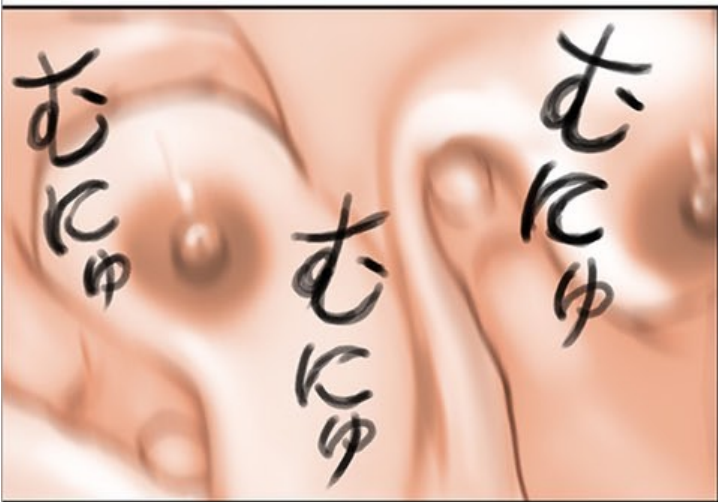
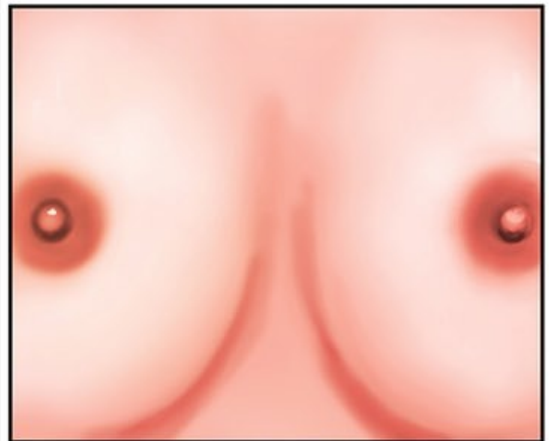


脱がせるのって  
興奮するな





白い胸が  
生々しくて  
エロかった



柔らかくて  
もちもち  
してる

もう少し  
優しい方が  
感じるのよ



あ…

乳首を吸って  
舌で転がして  
いると  
乳首が固く  
なってきた



うん  
上手よ



気持ち  
いいですか？



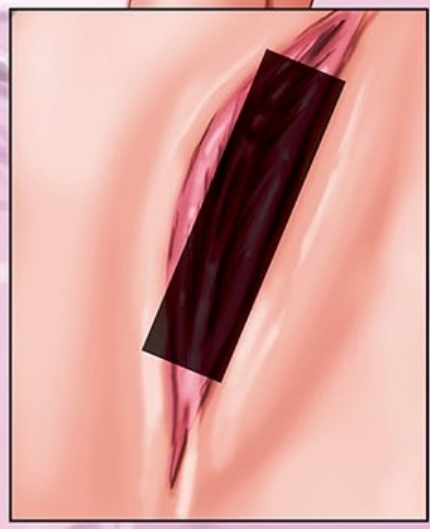
うーん…  
恥ずかしいけど  
いいわよ

……  
オマンコ  
見てもいいですか





……  
こんな卑猥なのが  
沢口さんの  
身体の一部なんて  
信じられないな  
……  
触ってもいいですか



ああ

んは

ああ

あ

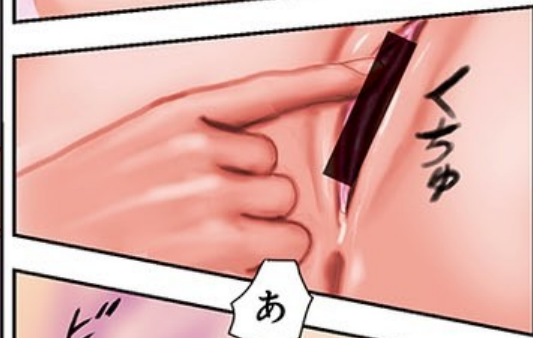
あ

とろとろで  
美味しそうだ

味見させて  
ください



優しくよ



くちゅ



あ

ビク  
ビク



ぴちや

ぴちや

ぴちや

ぴちや

じゅる  
じゅる

あはあ~~~~

あ  
あ  
あ

んんはあ

あは...あは  
ああん  
あーそこ...

ああ  
...んん  
イツちやう



沢口さんのイキ顔  
セクシーですね

それじゃあ  
よろしく  
お願いします



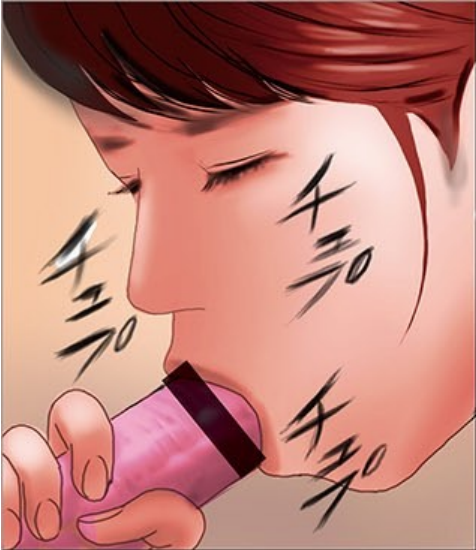
ピク  
ピク  
ピク



やだ  
あたしったら  
先にイツちやうって



あ  
は





あー  
感激だ

沢口さんと  
繋がってる



あは~~~~~

ぬふ

チンコは  
とろ肉に  
飲み込まれた

あぁ  
……



卒業  
おめでとう

入ってること  
みたいです



あぁ



今は  
名前で呼んで



うはあ



ああ：  
突いて

あ  
あ



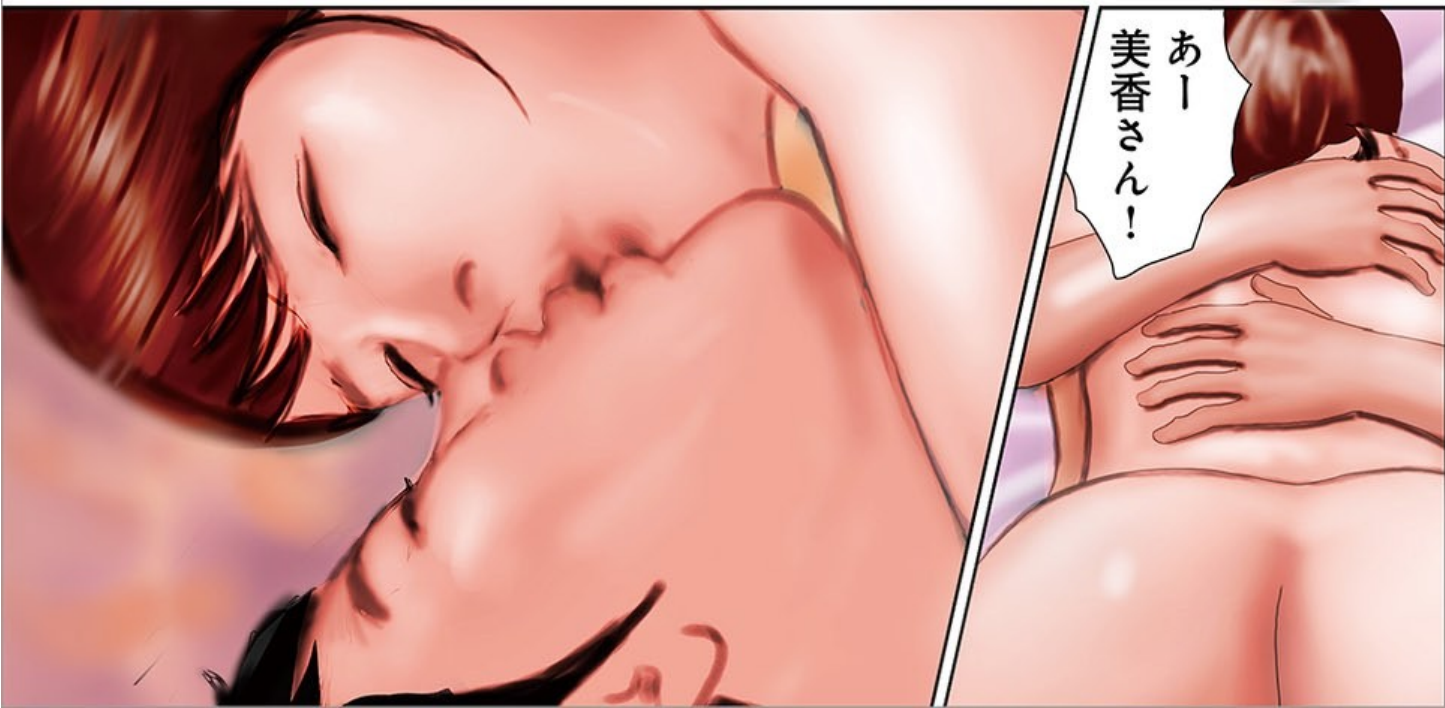
ああーん  
気持ち  
いいわ

あう

あん

あん

チンコを動かすたびに  
ねっとりした肉汁が  
絡みついてきた



あー  
美香さん！



俺は快樂の  
赴くまま  
一心に腰を  
振っていた

あく〜  
素敵!素敵よ!!





あっぱあ〜ん



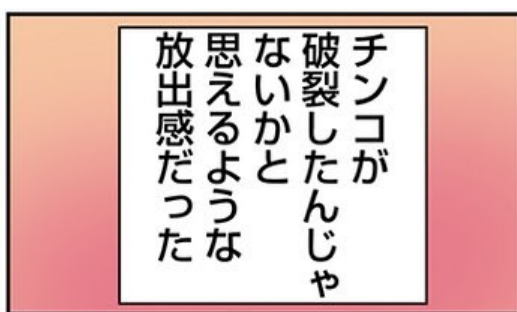
わかりました

二人の門出を祝して  
もう一回しない



えー  
そうなん  
ですか  
……

あたしこの春から  
子供と一緒に  
夫の単身赴任先に  
引っ越すの

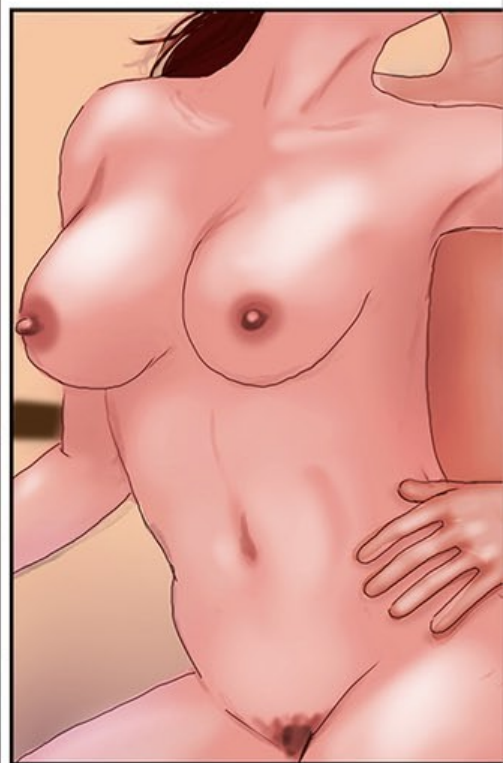


チンコが  
破裂したんじゃ  
ないかと  
思えるような  
放出感だった



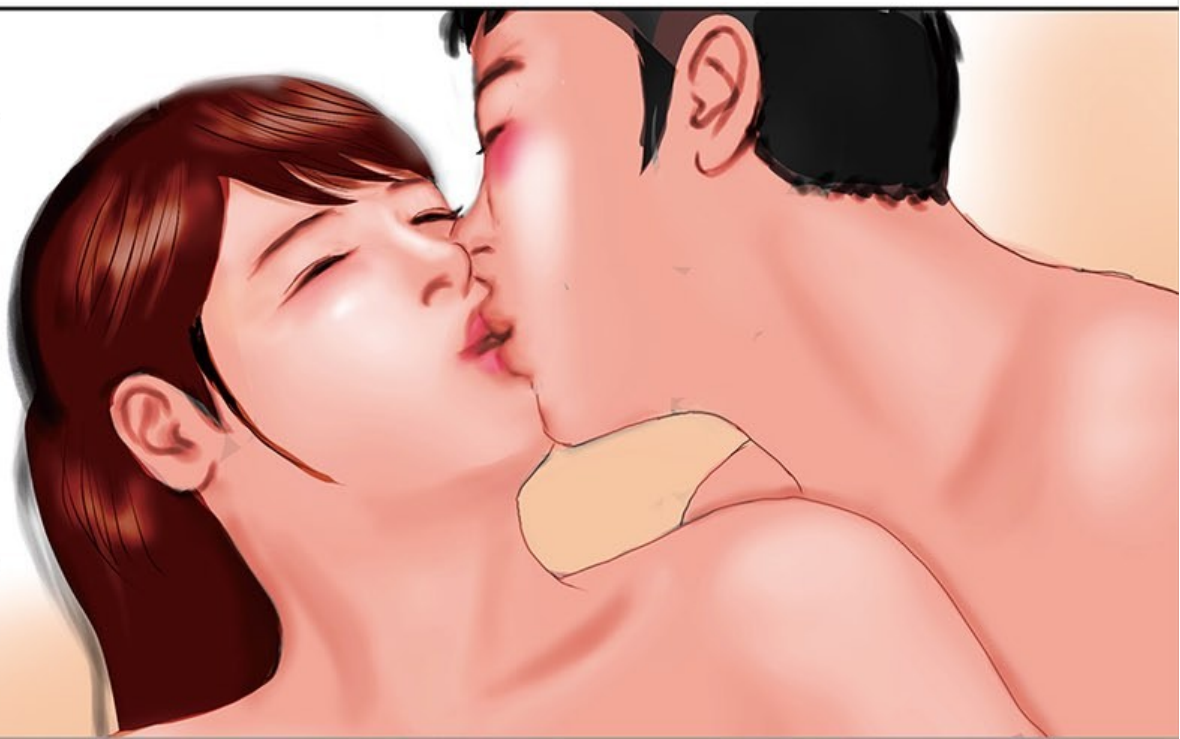
美香さん  
これからも  
たまに会って  
もらえますか？

できないわ



美香さんと交わした  
キスの味は学生時代の  
忘れない思い出に  
なるだろうと思った

END



美人課長の

誘惑のフェロモン



俺は化粧品会社の  
営業マン26歳

その日は取引先の会社で  
打ち合わせがあった

長引いて  
しまい  
自社に  
戻ると…

部署には  
課長のほかには  
誰もいなかった

課長は俺の  
報告を待っていたのだ

ただいま  
帰りました

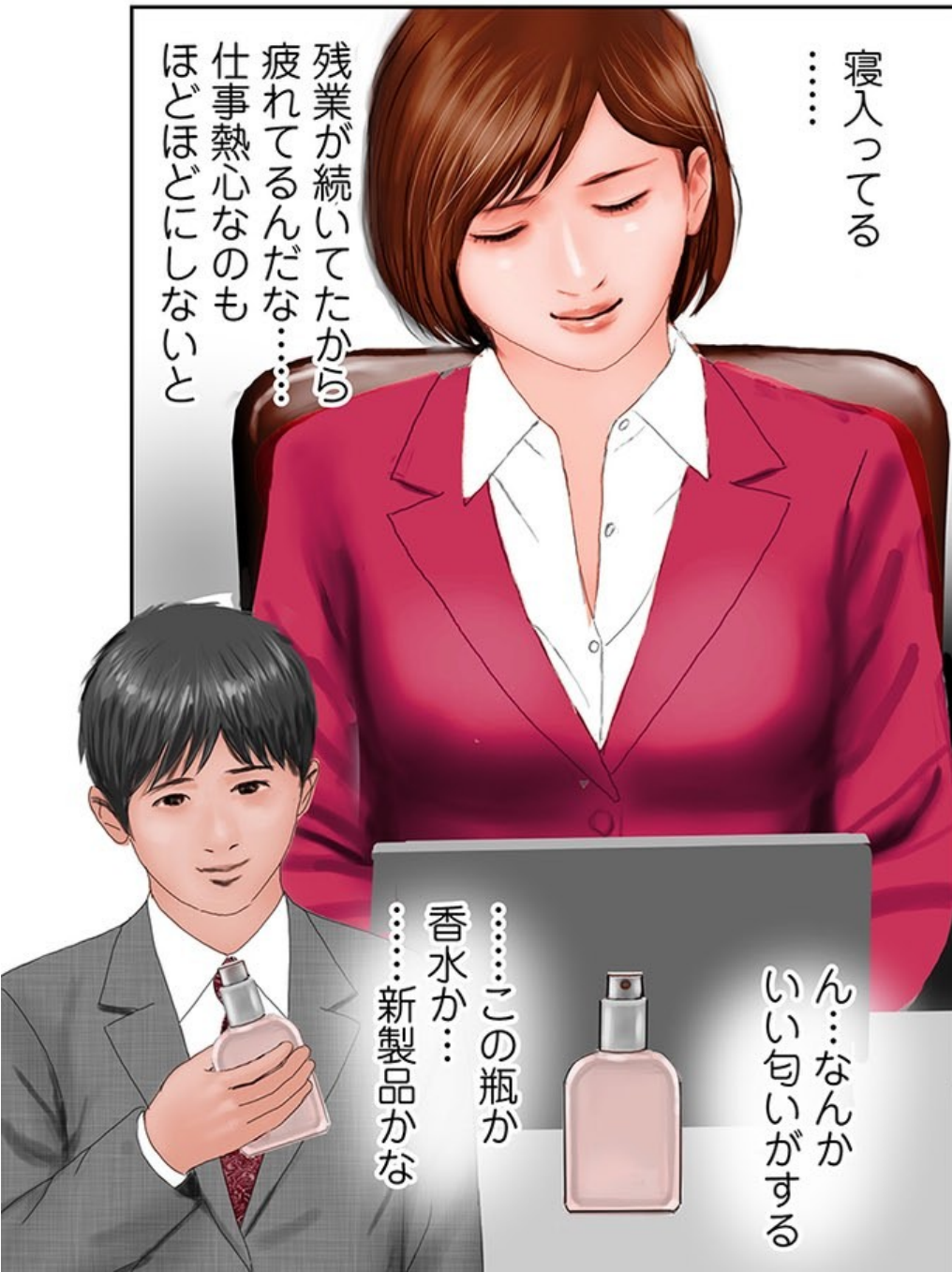
寝入ってる  
……

残業が続いてたから  
疲れてるんだな……  
仕事熱心なもの  
ほどほどにしないと

課長は37才  
美人で仕事ができ  
俺の憧れの人だ  
課長も俺に何かと  
目をかけてくれていた

ん…なんか  
いい匂いがする

……この瓶か  
香水か…  
……新製品かな





…甘くて  
ウツトリする

……今まで嗅いだ  
ことのない匂いだ



ニユ



課長がいつも以上に  
魅力的に感じていた



なんかちよっと  
ムラムラしてきた



課長  
起こさなきゃ

……  
可愛い寝顔だ  
そそられるな

課長を起しよと  
近づくと...



ん...  
今嗅いだ香水と  
同じ匂いがする

うーん  
そそられる

香水と課長本来の  
フェロモンが  
混じった匂いに  
俺は酔いしれ...  
ムラムラ感が  
高まってきた



あ...  
ボタンが  
外れてる  
...



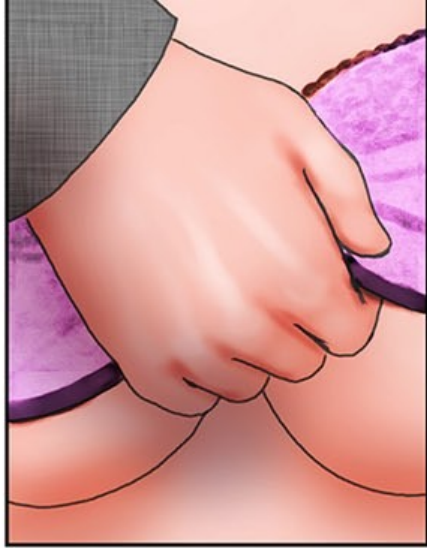
課長のブラウスを  
はだけてしまった

俺は誘われる  
ように...



お...  
思ってたより  
大きいな





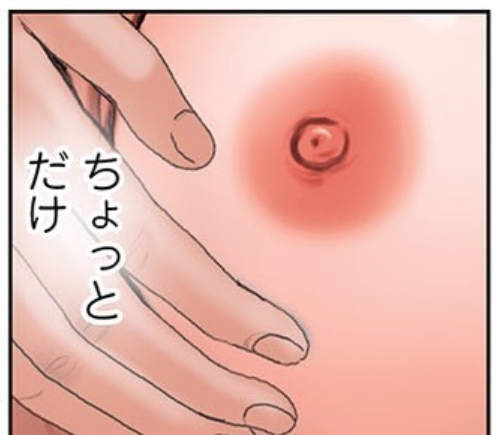
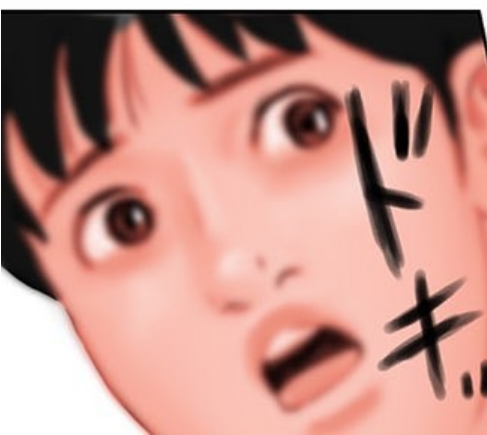
……いや大丈夫  
起きそうもない

……  
やばいかな



うわあ~~~~

柔らかいん  
だらうな



トキッ

効き目  
あるわね

ちよっと  
だけ





なんでもいいわよ  
率直な意見言っ

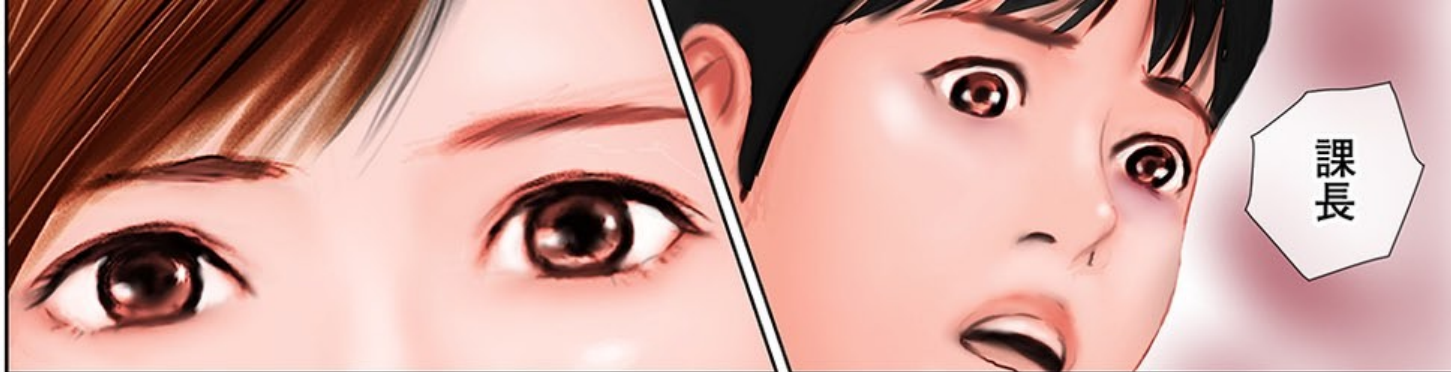
…もしかして課長は  
香水の効き目を  
試すと同時に  
俺を誘惑してるのでは

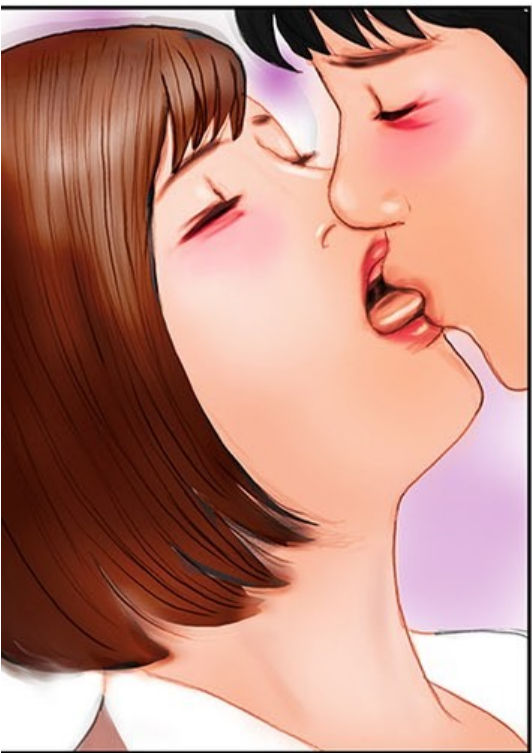


ムラムラした  
気分が収まり  
ません

課長を  
抱きたいです！

…そんな気持ちに  
させたのは  
あたしの責任ね







溝のあたりを  
擦ると湿っていた



課長の股間は  
熱くなっていた



オマンコ  
濡れてるんだ

あ...



課長お尻持ち  
上げてください



あぁ...  
感じて  
るんだな

よいしょ

下着の中に  
手を入れた

オマンコに  
触れると  
ヌルヌルだった

にゆる

にゆる  
にゆる

あ  
あ  
あ

にゆる  
は

味見させて  
ください

す  
ま

ちよつと  
待って

下着を下ろすと  
課長のフェロモンが  
発散した



今日ね外回りで  
一日中歩き回ってたから  
蒸れてると思うの



それに  
ここにつけたら  
どんな効果があるか  
試してみたいの



：俺的には  
蒸れた生の方を  
味わいたかったん  
だけだな

課長のマン臭と  
フェロモン香水の  
混じった匂いは  
脳みそを痺れさせ  
興奮をぐっと高めた



なんて刺激的な  
匂いなんだ



俺は課長のマンコに  
むしゃぶりついた

ジュル

んんあ

あはあ



あひい



はあん

はあ

あ



はあ

俺はじぶんでも  
びっくりするくらい  
舌が高速に動いていた

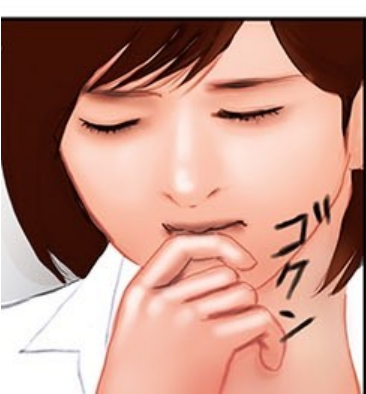
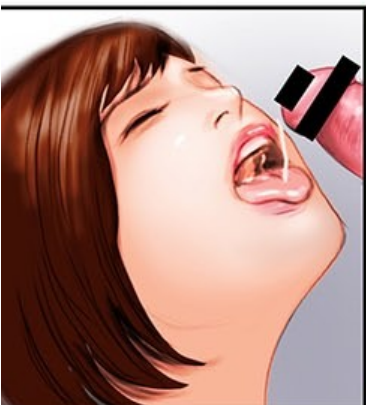
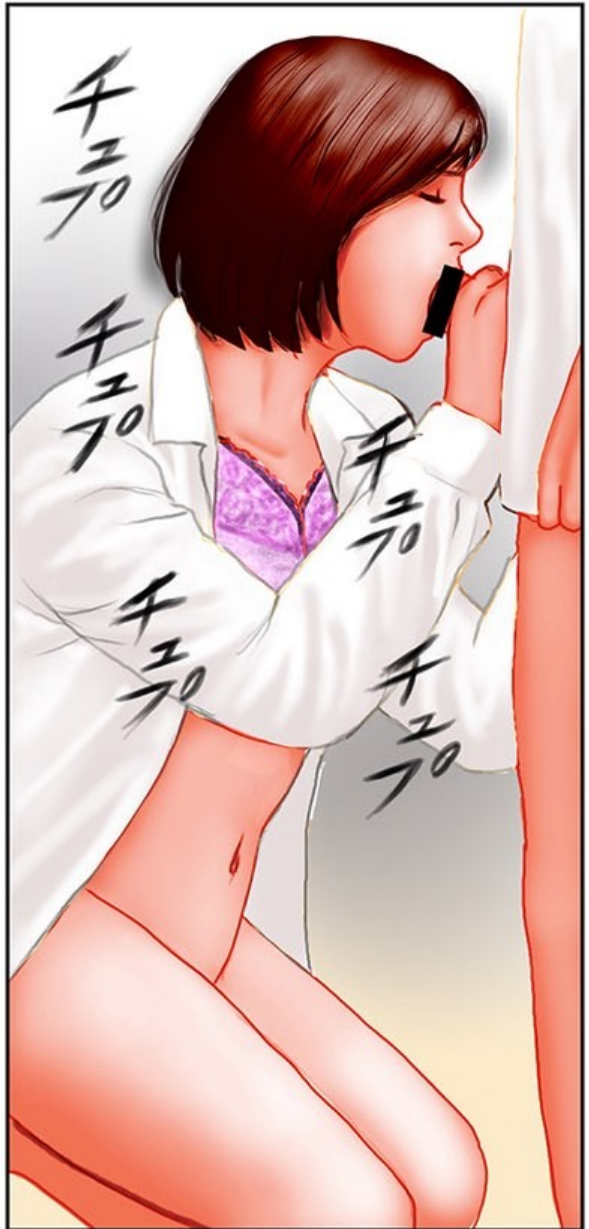
ジュル

ヒチャ





課長がひざまずいて  
俺のチンコを  
しゃぶってる  
超感激だった



あー課長  
出ちやいます

いいんですね  
ああああ



憧れていた  
課長と繋がった  
悦びでチンコが  
膣の中で増大した







いいわ  
いっぱい  
出して

あ...ああ  
課長  
俺イキます



あ...  
イイ...

イク

[Redacted]



うは

あん

あん

あん

あん

ギシ

ギシ

ギシ

ギシ



チンコは衰えず  
勢いは増していった

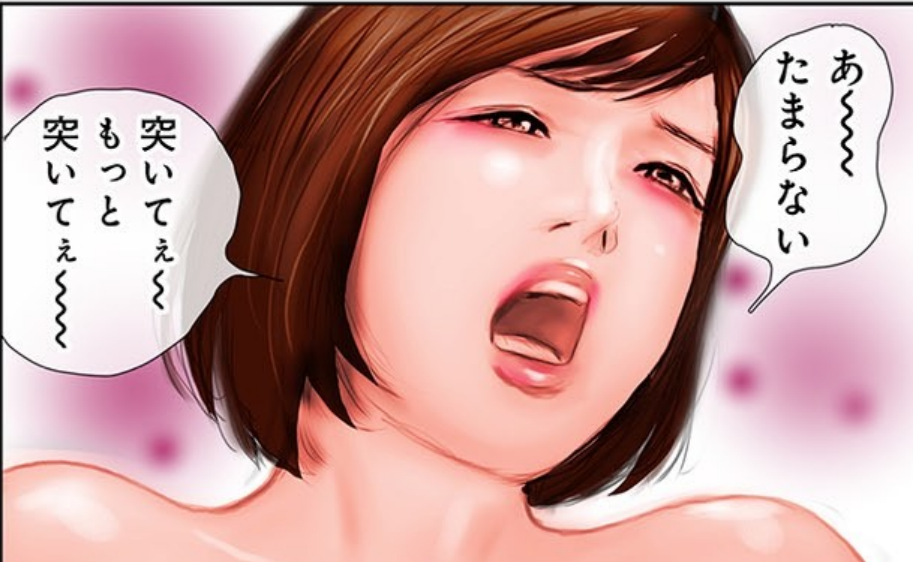
んんはあ~~~~

ぬぶ  
ぬぶ  
ぬぶ  
ぬぶ



この日使用した  
フェロモン香水は  
製品化されると  
ヒット商品となった

終



突いてえく  
もっと  
突いてえく~~~~

あ~~~~  
たまらない

いよいよのお姉さん

報復の中だし



俺は25才の会社員  
実家で両親と暮らしている  
そこへ母の姪すなわち  
俺の従姉が転がり込んできた

旦那の浮気が発覚して  
家を飛び出してきたのだ

綾子<sup>あやこ</sup>30才職業は  
エステティシャンだ

お世話に  
なります

綾ねえが実家に帰らず  
ウチに来たのは  
兄夫婦とその子供達が親と  
同居していて戻りずら  
かったのだ

遠慮しないで  
いつまでも  
居ていいからね

俺は綾ねえと  
呼んでいた

それに勤務先がウチに近く  
通勤帰りよくウチに寄っていき  
ウチの家族と親しくして  
いたからだ…

綾ねえは  
次の日から  
欠勤することなく  
ウチから通勤した



当初はかなり  
落ち込んでいたが  
日を追うごとに  
少しずつ元気を  
取り戻していった



…まだ  
帰らないわ

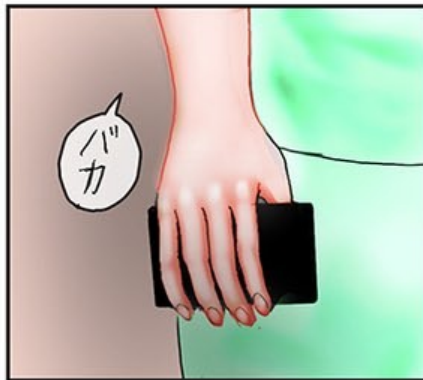
バカ

……

…だめよ  
そう簡単に  
許さないわ

泣きそうな  
声だったわ  
…いい気味

綾ねえは  
俺の初体験の  
相手だった





俺が高3で  
綾ねえはまだ独身で  
エステティシャンに  
成り立てだった

綾ねえの店は  
メンズもやっていて  
練習台を頼まれた  
……



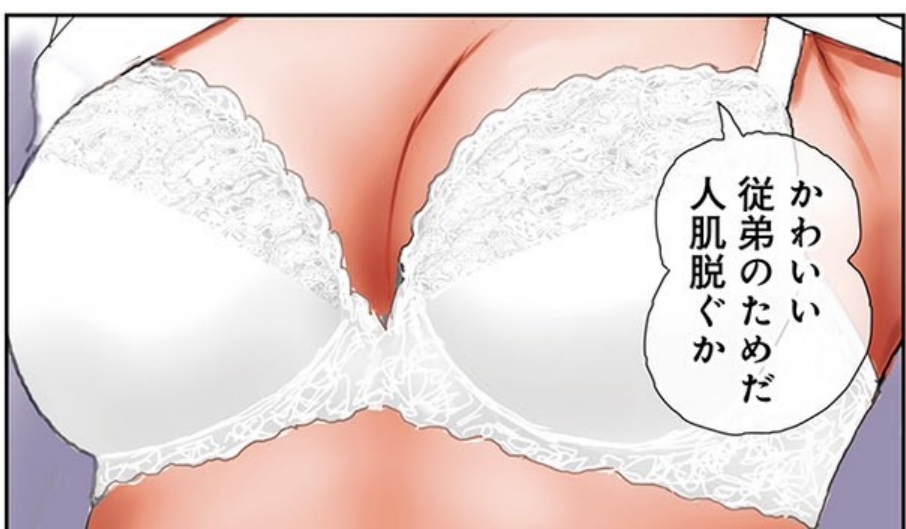
女性に肌  
触られるの  
初めてなんだ  
俺には刺激  
強すぎだよ

童貞だっ  
たの……



どうしたの？

俺はチンコが反応  
してしまっただ



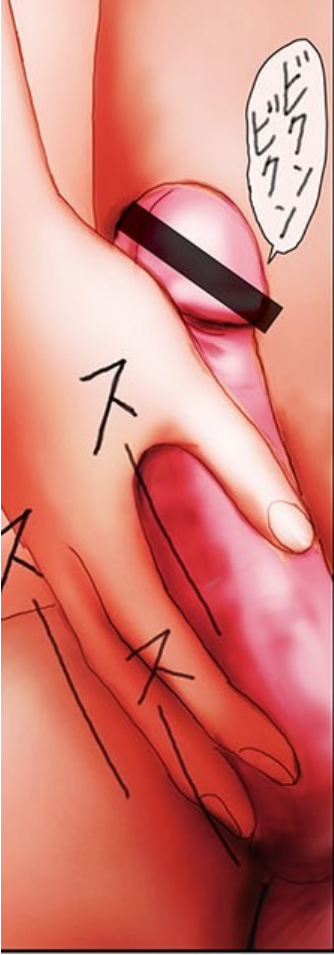
かわいい  
従弟のためだ  
人肌脱ぐか



したい！  
したいよ



筆下ろし  
したい？



ビクン  
ビクン

ス



綾ねえは  
全裸になって  
くれたのに  
俺はどう攻めて  
いいかわからず  
戸惑っていた…



これはは  
成り行きよ

一回きり  
だからね



綾ねえ!



ああ…  
ああ…



ああ…  
あふ…

むにゅ  
もみ  
もみ  
チニハ  
チニハ  
チニハ  
チニハ



これが綾ねえの  
おっぱい!

俺は夢中で胸に  
むしゃぶりついた

前戯はそこそで  
チンコを割れ目に  
押し当て

……こ  
こ……?

んんん

うん  
そこ

ああ~~~~

膣中ではあったかくて  
想像してた以上に  
ヌルヌルで  
トロトロ肉が蠢いていた

にゅぐにゅぐ

あ~~~~感激だ  
俺のチンコが  
綾ねえのオマンコに  
入ってるう~~~~!!









……許せたとしても  
あの人のことを責める  
気持ちは消え  
ないんだらうな



まだ  
わからないわ



旦那のこと  
許すの？



綾ねえの手が  
太腿の付け根を  
揉み始め  
手はそこから  
移動しなくなつた

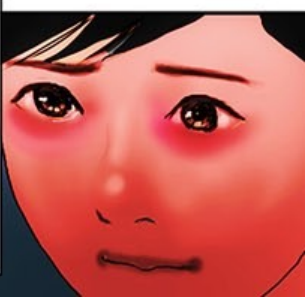
……どうすれば  
いいんだらう

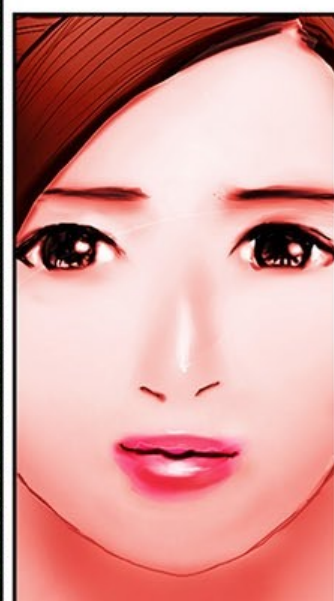


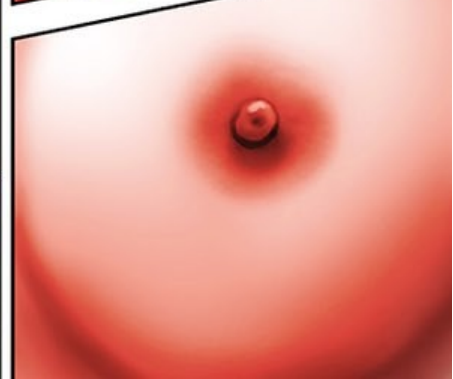
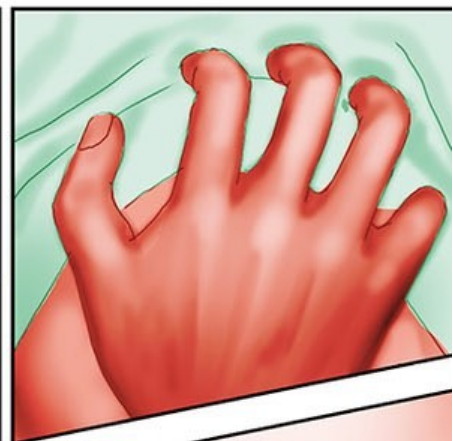
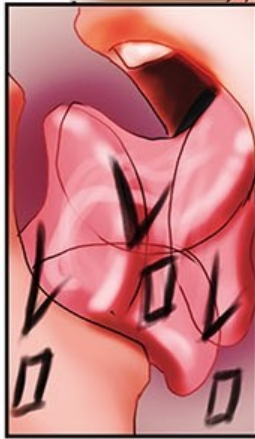
綾ねえは  
俺を挑発して  
いたのだ

……仕返し  
すれば

俺の  
チンコは  
ギンギンに  
膨らんでいた





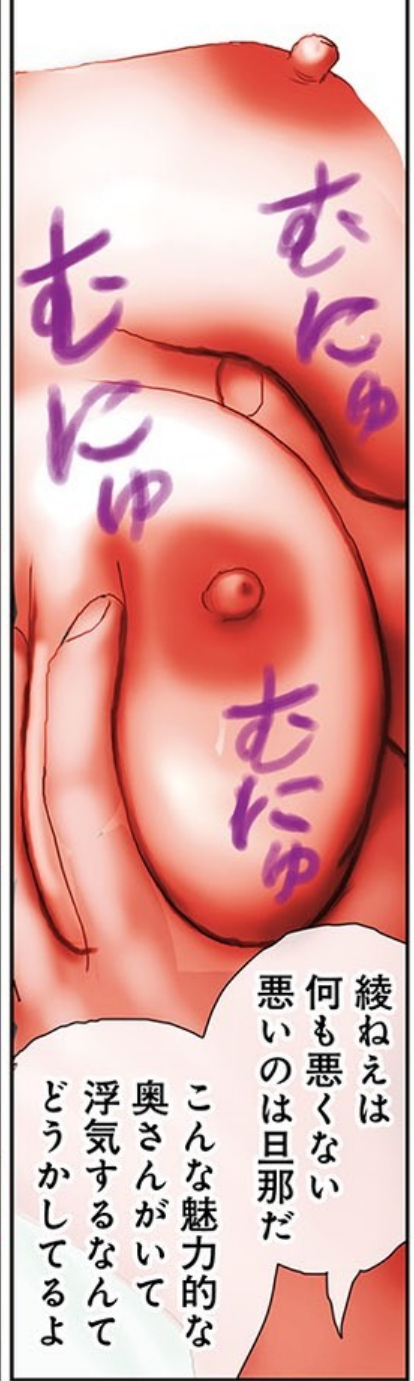




男って  
みんなそう  
なんじゃないの  
隙あらばって

あくムカ  
ついてきた

もっと  
手綱を締めて  
おくべきだったわ



綾ねえは  
何も悪くない  
悪いのは旦那だ  
こんな魅力的な  
奥さんがいて  
浮気するなんて  
どうかしてるよ



俺もチンコを  
露出した



にくっ  
たらっ

綾ねえは  
下を脱ぎ始めた



綾ねえは  
チンコを  
啜えると

ねっとりした  
唾液を塗り  
こんでいた



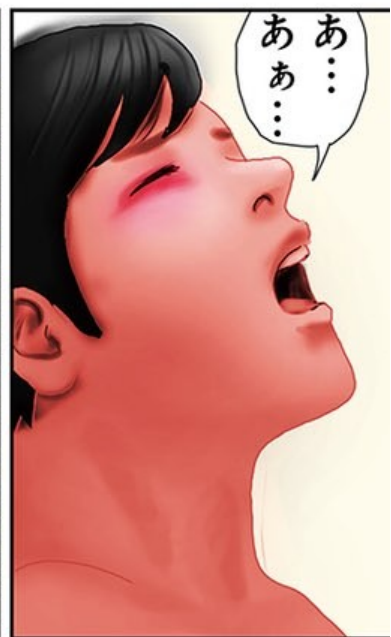
出さないで

あたしの中で  
濃いのがいっぱい  
ぶちまけて



ああ…  
出ちゃう…

あく  
たまらない



あ…  
ああ…



チュポ  
チュポ  
チュポ  
チュポ



うわー

その前に俺にも綾ねえのオマンコ舐めさせてよ



そんなに見ないで恥ずかしいわ



割れ目はぐっしより濡れていた

仕返しのためだけならこんなに濡れない俺を求めているのも確かだ



あ

あ

うはあ~~~~

うぐ

ああ



ああ...んはあ...

綾ねえのオマンコは肉ビラがビクビクと痙攣していた

じゅる ぴちや









膣壁の  
収縮が始まり

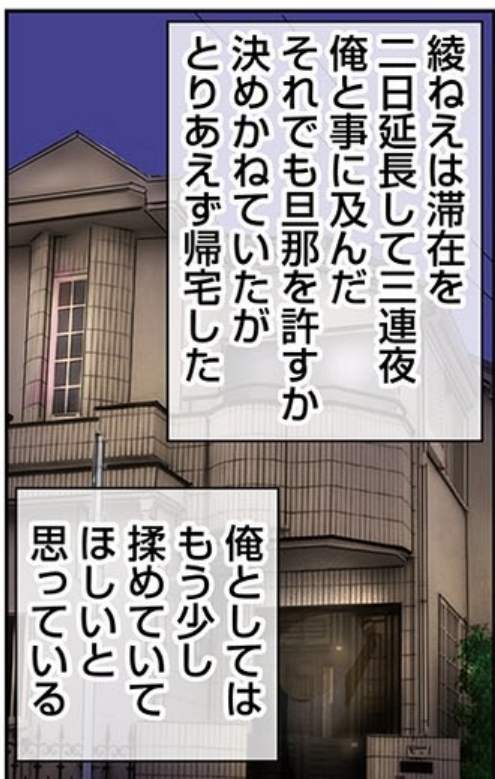


亀頭にザーメンが  
溜まり破裂寸前に



んああああく〜

綾ねえの望み通り  
大量のザーメンを  
膣にぶちまけた



綾ねえは滞在を  
二日延長して三連夜  
俺と事に及んだ  
それでも旦那を許すか  
決めかねていたが  
とりあえず帰宅した

俺としては  
もう少し  
揉めていて  
ほしいと  
思っている

END



…あ

そういうばあの人  
浮気をしたのは  
3回だって言ってたわ



……どう  
これで旦那を  
許す気になった

…うーん  
どうかな

人妻ダグシードライバー

陰唇の疼き



わたしはアラフォーの  
タクシードライバーです

専業主婦をしていましたが  
娘が高校生になったのを機に  
働き始めたんです

わたしは車を運転するのが好きで  
勤務体系も主婦向きの昼だけでも  
OKだったのでこの仕事を選びました



最初は気楽な仕事だと思  
っていたんですが  
たまに嫌なお客も乗って  
くるのです

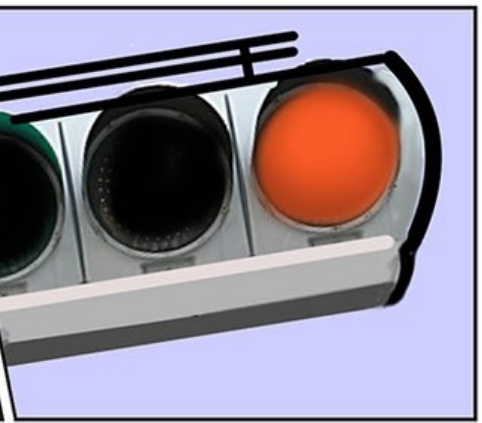
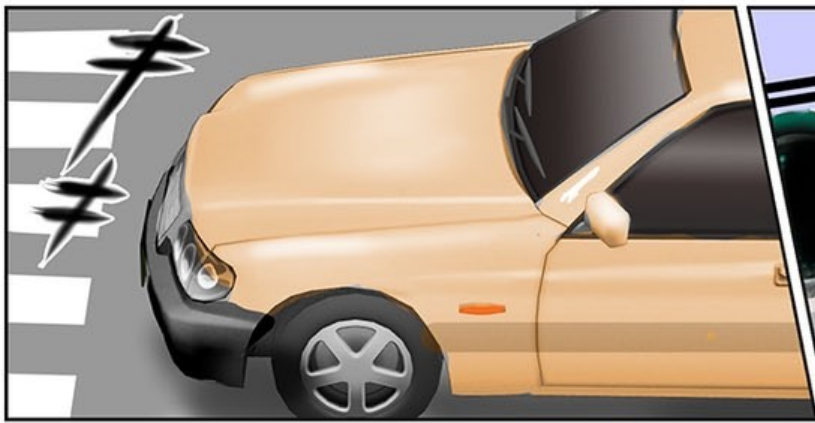
……  
その日も

急いでるって言ったろ  
もっとスピード出せよ



これ以上は無理です





ストレスが溜まると  
運転に支障を  
きたさないように  
解消します



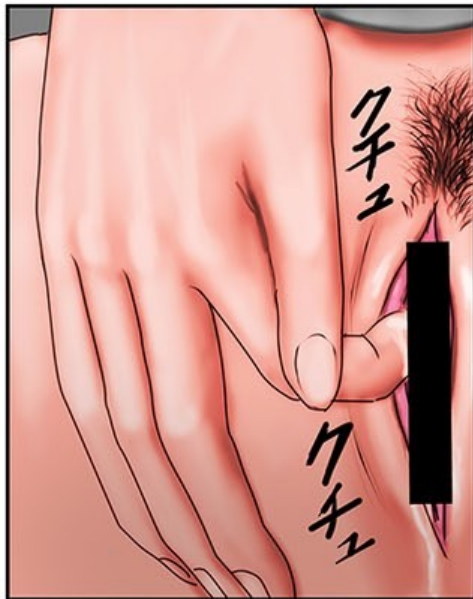
あ…



ああ…

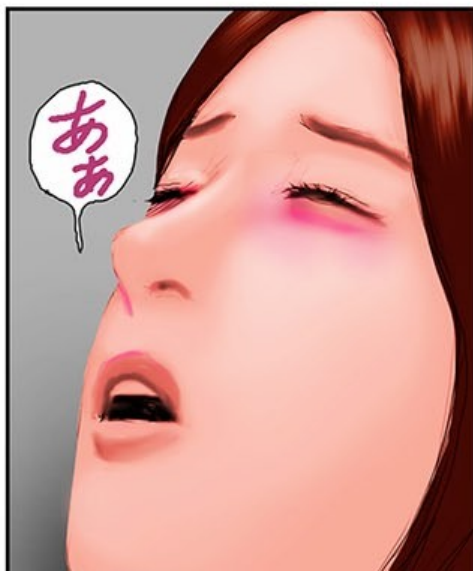


わたしが  
考えた方法は…



クキユ

クキユ



ああ

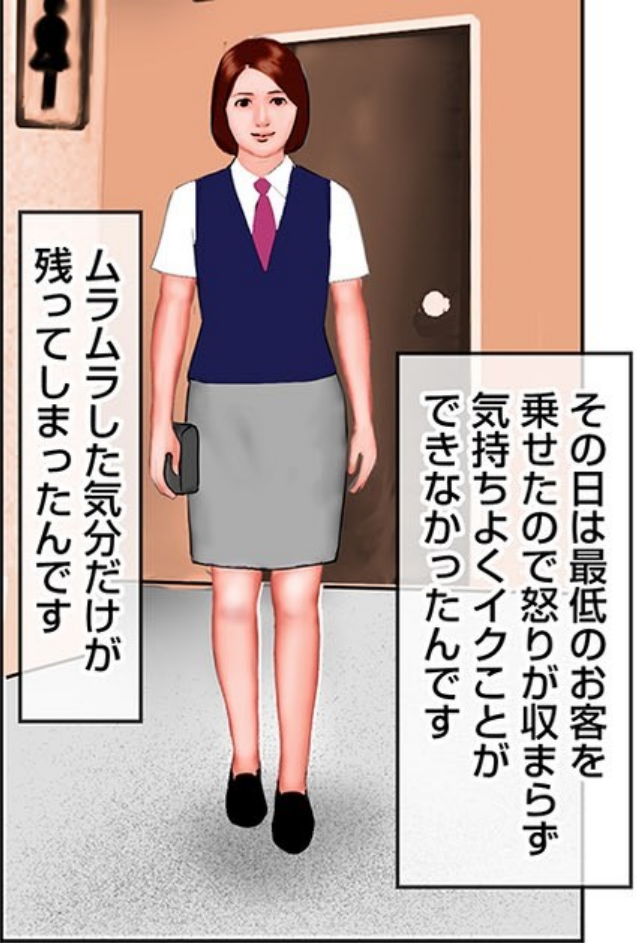


んん…

快楽に身を  
置くことで

嫌なことを忘れ  
気持ち切り  
替えるのです

こんなことを  
思いついたのは  
夜の夫婦生活に  
不満があったから  
だと思います



ムラムラした気分だけが  
残ってしまったんです

その日は最低のお客を  
乗せたので怒りが収まらず  
気持ちよくイクことが  
できなかつたんです



わたしも彼を  
可愛がって  
いたんです

今日は  
お休み？



なおや  
直也くん

あ

彼は子供の頃から  
わたしになついて  
いました



彼はうちの  
ご近所さんの  
大学生

彼の家とは  
家族ぐるみで  
親しくして  
いたんです



……  
さぼり

ちょっと彼のことが  
気になったので  
横に座ると

彼に失恋したことを  
打ち明けられたんです

友達に彼女奪われ  
ちゃったんだ



はあー



それは  
辛いわね



直也くんなら  
すぐに新しい  
彼女できるわよ

彼はわたしに  
取り付いてきんです



おばさん

膝貸して  
くれる



わたし固まって  
しまいました

そして身体が火照り  
欲情してしまいました

膝をとられた  
ぐらいで欲情  
したのは  
訳があったんです



少しの間  
こうさせて  
柔肌が  
恋しいんだ



ホッ

雨降って  
きたわ



直也くん  
車の中  
行こう

雨は  
本降り  
なり



わたしは  
直也くんを  
自宅に送って  
行くことに  
したんです



乗車して  
間もなく

直也くんが  
太腿を触って  
きました

彼はわたしを  
求めているんだと  
思いました

わたしは  
拒めませんでした

実はトイレで  
オナニーをしていた時  
頭に浮かんでいたのは  
直也くんだったんです

彼はわたしの  
オナニーの  
オカズの  
リストの  
一人でした

あたしに慰めて  
ほしいの？

おばさんみたいなの  
綺麗な人抱けたら  
彼女のこと忘れ  
られると思うんだ

その時わたしも  
彼をもとめて  
身体が疼いて  
いたんです

だめ！  
だめよ

……  
わっかたわ

だめ！

本当！



俺感激だよ  
でも時間  
大丈夫なの？

休憩時間よ



オマンコ  
ぬるぬるだ  
俺のこと  
ほしいんだね



彼のペニスは主人の  
くたびれた物とは  
比べものにならない  
くらい硬かったんです



なんて淫らな  
わたし……



わたしも  
胸が高鳴って  
いました

あー  
興奮するな



なんて  
柔らかい  
おっぱいだ

指がどこまでも  
埋まっていきそうだ



もったいない



いつもおじさんに  
揉まれまくって  
るんでしょ

見向きもしないわ  
ほったらかしよ



宝の持ち腐れ  
だね







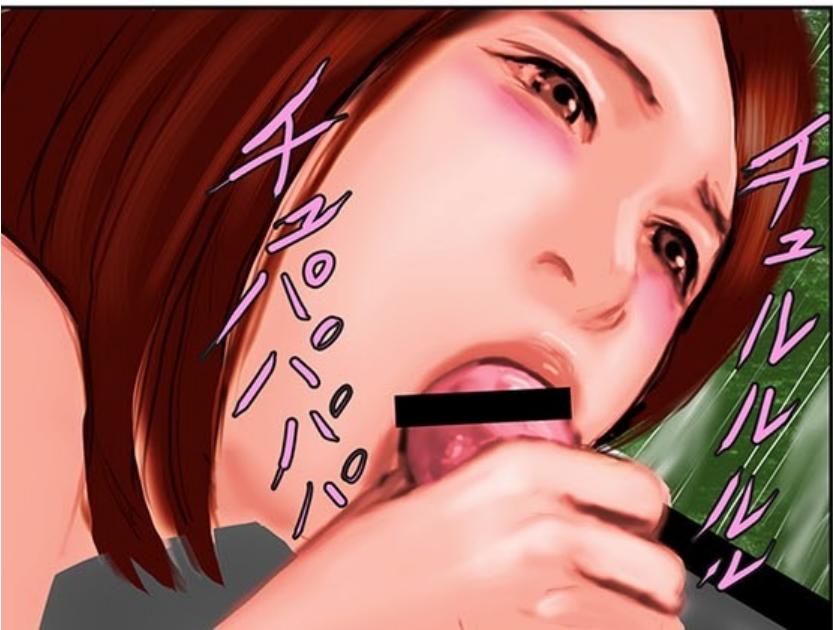
硬く反り返った  
ペニスはいきり立ち  
逞しさを増して  
いったんです

それじゃあ  
今度は俺のを

あたしが慰められ  
ちやってるわね

気持ち  
良かった  
……

あく  
おばさんが  
俺のちんこを  
啜ってる  
夢のようだ



ああ







彼女のことが  
忘れられるね

もう未練は  
ないよ

グ  
グ  
グ  
グ  
グ



んんはあ

彼女と別れて  
結果的に良かったな

そのおかげで  
おばさんを  
抱くことが  
できたんだからね

ジ  
ジ  
ジ  
ジ  
ジ



あひゃ

にゅる  
にゅる



あは

うぐ



あはあ

あ

あ

うはあ

あ

あ

彼のピストンは  
主人では到達しない奥を  
勢いよく突いていたんです



あ

あ

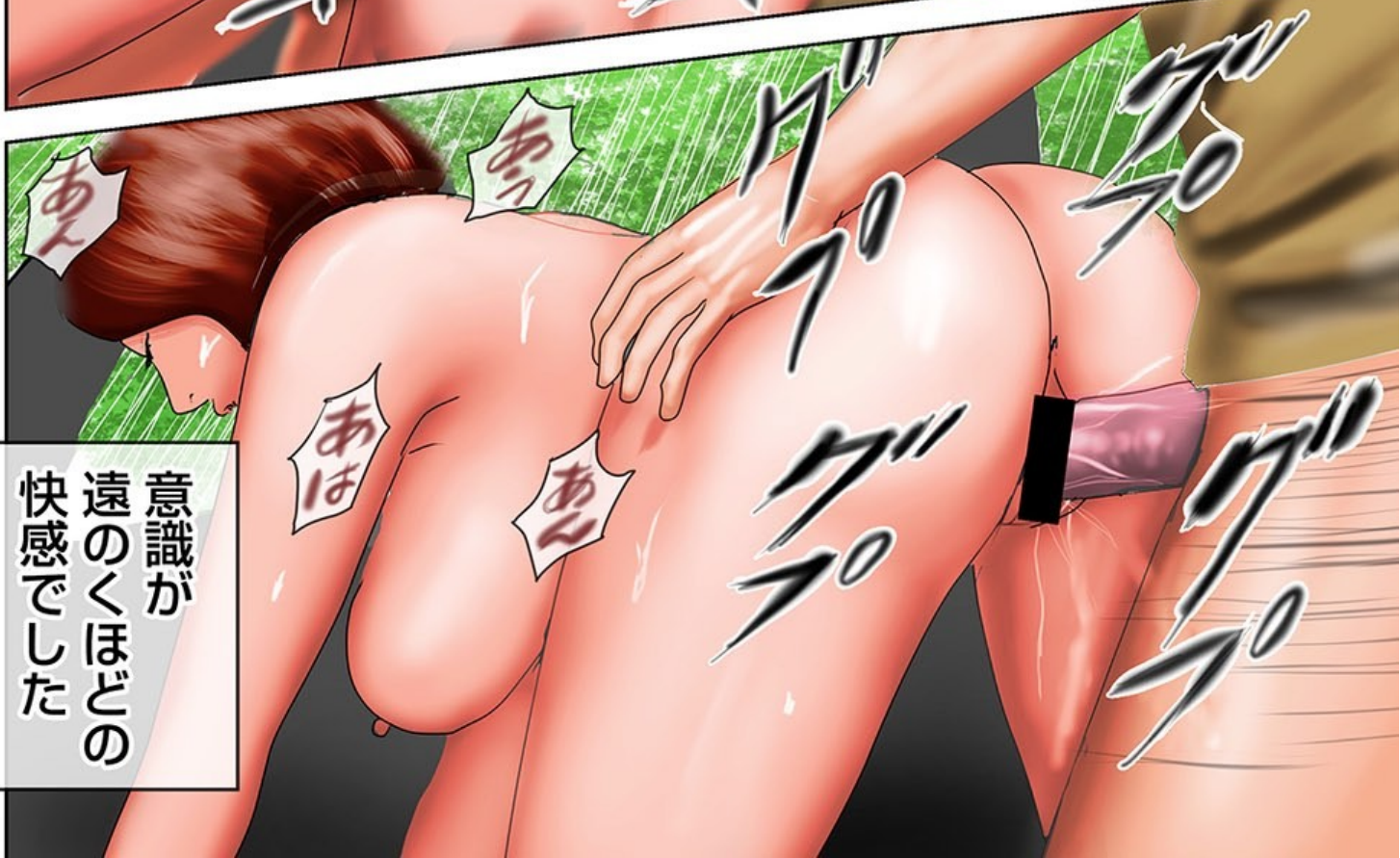
あ



あ〜〜  
壊れちゃう



あゝゝたまらない  
いい!!!  
すごくいい!!



意識が  
遠のくほどの  
快感でした



あくイクう



……まだ  
直也くんを  
離したく  
なかったけど

気を取り直し  
ハンドルを  
握りました



その後  
直也くんは  
新しい彼女が  
できました

わたしは相変わらず  
オナニーでストレスを  
解消しながら仕事を  
しています

それから  
カーセックスを  
したせいか  
好みの男性が  
乗車してくると

身体が疼き濡れて  
しまうのです



おわり





MEDIAX  
GEKIYABA!  
COMICS 51